しまねのミュージアム探検隊

美術館&博物館

7つの謎

solve a riddle





に挑戦!!

しまねミュージアム協議会

島根県を4つのエリアに分割
それぞれのエリアの謎に挑戦だ！

インデックスで地域を表示、自分の住んでいる近くから問題に挑戦してみてね。

THE MUSEUM OF SHIMANE

問題レベル
隠岐

周囲を海に囲まれた隠岐の島にはその自然と独特の文化を象徴するミュージアムが点在している。問題に挑戦する前にその場に行ってみるのもいいかも？

出雲地方独特の神話や歴史を感じさせるミュージアムが多い。問題もその傾向が強いので歴史の勉強をするつもりで挑戦しよう!!

問題レベル
東部



問題レベル
中部

自然にまつわるミュージアムの多い地域だ、問題は簡単なものが多いがなめてかかると痛い目にあうぞ。普段から自然と親しむことが問題解決の近道だ。



問題レベル
西部

文化の色濃い島根県西部。問題のレベルも最高クラスだ。挑戦する前に予習してかかろう!!



本書で出題している問題の詳しい回答もホームページで見る事ができます。

しまねの美術館、博物館。
本誌で掲載している

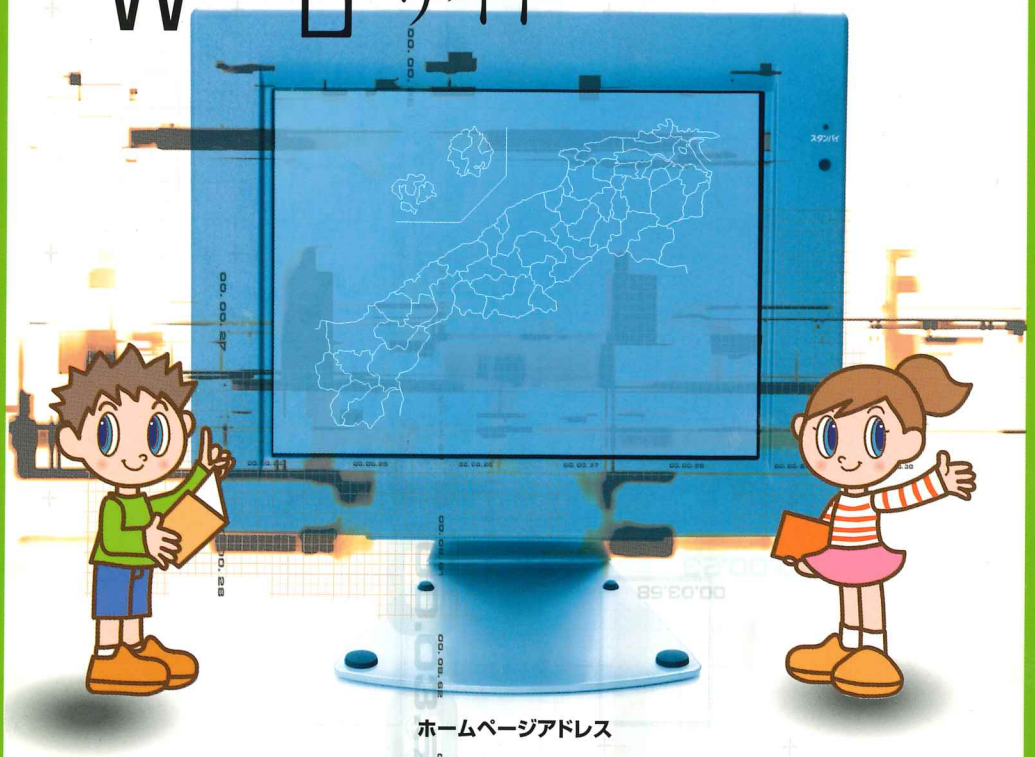
77箇所の情報は

（掲載館数 全77ヶ所）

詳しい

ホームページ

Webサイトで見る事ができます。



ホームページアドレス

http://www.v-museum.pref.shimane.jp/

ホームページの内容

●本書の問題の詳しい回答　●展示内容　●スケジュール
●館内の様子　●アクセスや周辺の情報
●子供に人気の展示物、いろいろな催しについて。





ごあいさつ と 目次



しまねミュージアムガイドブックの発刊にあたって

しまねミュージアム協議会では、平成15年度に文化庁の芸術拠点形成事業の支援を受けて、「ミュージアムマップ　しまねのミュージアム探検隊」を作成しました。このマップは、銅鐸をデザインしたユニークな表紙と各館のコンパクトな紹介、行き届いた地図により、好評を得ることができました。しかしマップであるため内容にまで踏み込むことができず、情報量の不足は否めませんでした。

幸い、平成16年度も引き続き文化庁の同じ事業でガイドブック作成の支援をいただくことになり、マップに欠けていた情報の提供ができることになりました。

島根の展示施設には、さまざまなジャンルがあり、個性的な館がたくさんあります。この本では、そうした個々のミュージアムの特徴を広範な方々、とりわけ総合的学習など学校教育の場で活用していただくことを念頭に作成しました。

館の紹介のはじめに、それぞれの館を代表する展示品を一つづつ選んでもらっています。それをヒントに各館の特徴ある展示内容を探り、ミュージアムの特徴を理解していただけるよう配慮しました。

今回は、本だけではなく、インターネット上のHP(ホームページ)にも本書以上の情報を盛り込みました。本書を手に出来ない場合でも簡単に県内ミュージアムの情報を得ることができます。

この本やHPが生涯学習や学校教育の場で活用され、たくさんの方々が気軽にミュージアムを利用していただけるようになれば幸いです。

終わりに、助成をいただいた文化庁、忙しい中編集にあたられた事務局職員のみなさま、各学校の先生方に厚くお礼申し上げます。

平成17年3月15日

しまねミュージアム協議会
会 長　勝 部　 衛

凡　例

1.本書に掲載しているミュージアムは、平成16年度現在、しまねミュージアム協議会に加盟している館です。
2.各館の館名、住所、電話番号などのデータは、平成16年12月末のデータですが、新年度以降の合併期日等が決まっている施設については、新データを表記しています。
3.本書は、下記URLで表示されるHP(ホームページ)と連携しており、本書だけでなくHPも利用して、各ミュージアムの利活用をして下さい。

http://www.v-museum.pref.shimane.jp/

本書に用いている記号は、以下の内容を示します。

P 駐車場あり 有料・無料・台数　館内撮影禁止　レストラン有
コインロッカー有　障害者対応施設　売店有　喫茶店有

contents

東部

メテオプラザ
鹿島歴史民俗資料館
小泉八雲記念館
田部美術館
松江北堀美術館
松江郷土館（興雲閣）
島根県立古代出雲歴史博物館
島根県古代文化センター
島根県立美術館
八重垣神社収蔵庫
八雲立つ風土記の丘資料館
島根県並河萬里写真財団
八雲町郷土文化会館
安部榮四郎記念館
和鋼博物館
清水寺宝蔵
足立美術館
安来市立歴史資料館
安来市立加納美術館
松江市立出雲玉作資料館
松江市宍道覓古館
モニュメントミュージアム来待ストーン
加茂岩倉遺跡ガイダンス
永井隆記念館
鉄の歴史博物館
頓原町民俗資料館
可部屋集成館
奥出雲多根自然博物館
絲原記念館
雲州そろばん伝統産業会館
横田郷土資料館
奥出雲たたらと刀剣館
斐川町立荒神谷博物館
県立宍道湖自然館ゴビウス
出雲市立平田旧本陣記念館
出雲市立出雲文化伝承館
出雲科学館
今岡美術館
出雲民芸館
手銭記念館
出雲大社宝物殿
スサノオ館

中部

石見銀山資料館
大森銀山伝統的建造物群保存地区
島根県立三瓶自然館サヒメル
仁摩サンドミュージアム
江津市郷土資料館
水の国ミュージアム
今井美術館
瑞穂ハンザケ自然館
邑南町郷土館

隠岐

隠岐自然館
隠岐郷土館
海士町歴史民俗資料館

西部

しまね海洋館（アクアス）
石見安達美術館
歯の歴史資料館
浜田市郷土資料館
浜田市世界こども美術館
金城町歴史民俗資料館
石正美術館
秦記念館
医光禅寺
益田市立歴史民俗資料館
益田市立雪舟の郷記念館
萬福寺雪舟庭園
芸術文化センター石見美術館
日原町立歴史民俗資料館
日原天文台
津和野町立安野光雅美術館
桑原史成写真美術館
葛飾北斎美術館
津和野町民俗資料館
津和野町郷土館
杜塾美術館
板橋アンディックドール美術館
森鷗外記念館

東部地区の美術館・博物館

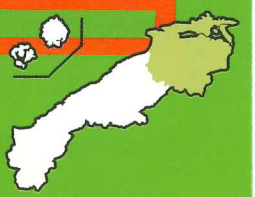
eastern area

（掲載館数 全42ヶ所）



の誌上





いん石です！

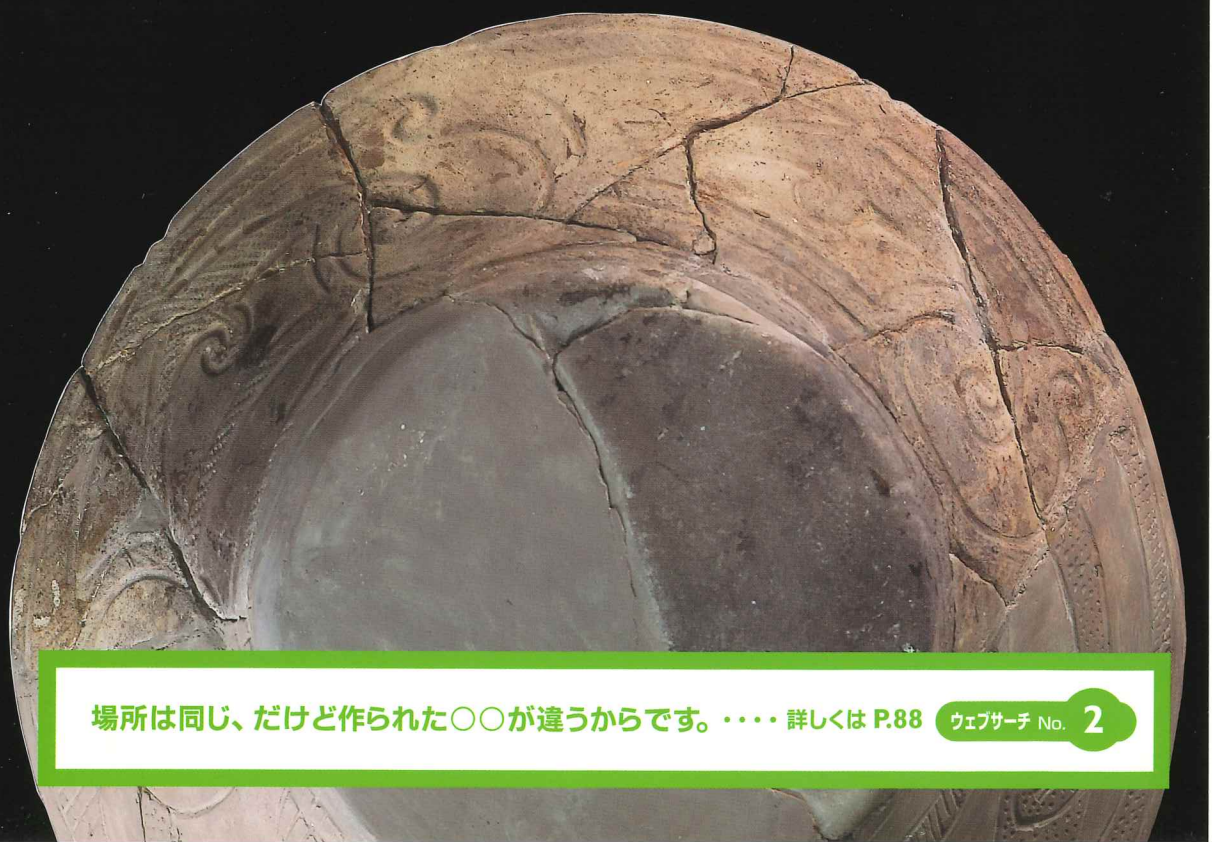
ヒューン・ドスン！
これは宇宙から美保関にやってきた
美保関いん石は何年何月何日に
落下したでしょうか。



ヒントは、クリスマス引く15日です。・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.88 ウェブサーチ No. 1



同じ場所から掘り出された土器なのに、どうしてこんなに模様が違うのでしょう？



場所は同じ、だけど作られた○○が違うからです。 ・・・・ 詳しくは P.88 ウェブサーチ No. 2



カエルのスケッチ、誰が描いたのでしょう?

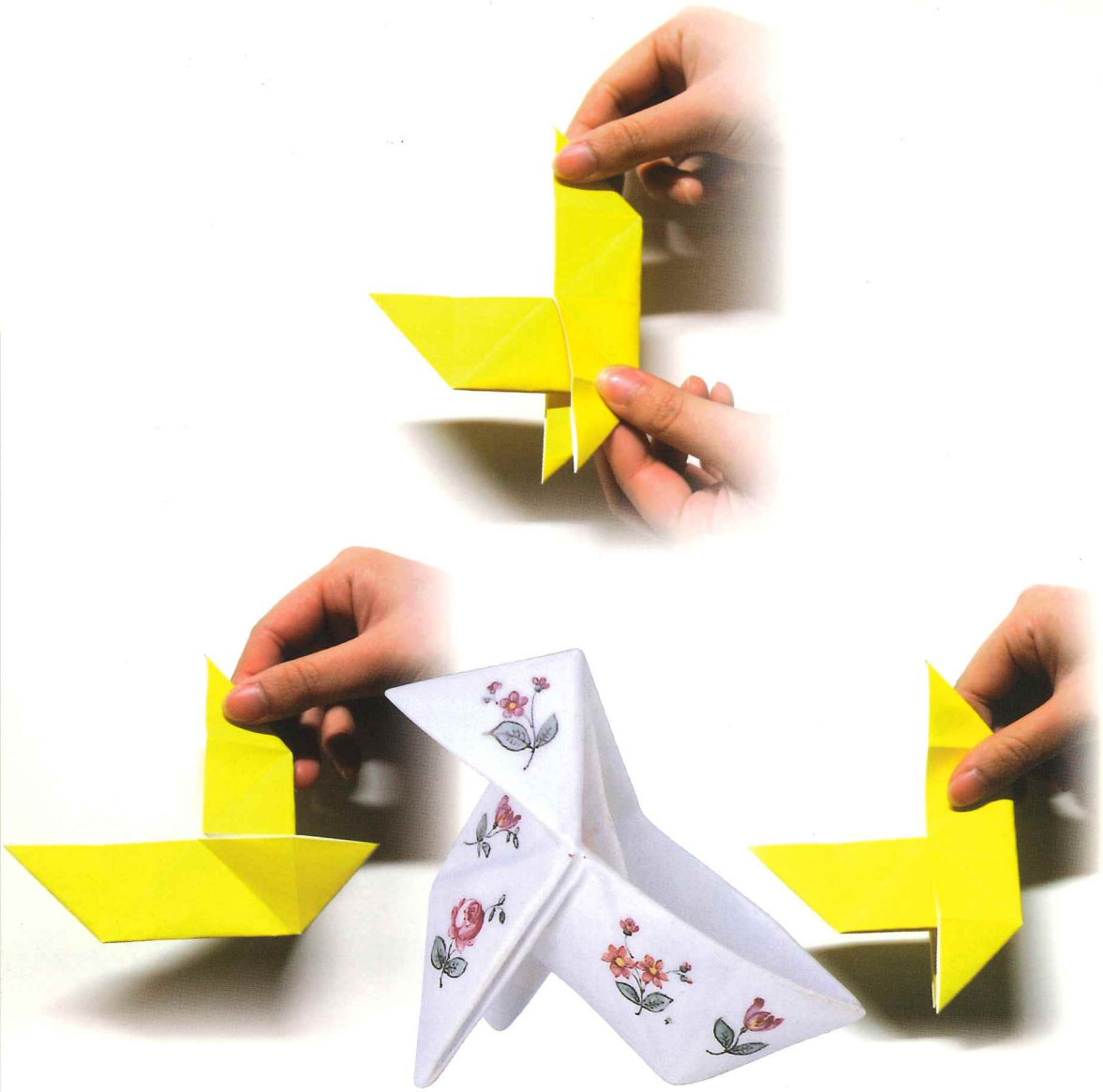
怪談などで有名な作家だよ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.88 ウェブサーチ No. 3

墨　黒々と勢いある文字だね。

だれが書いた「書」だろう。



松江城のお殿さまといえば ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.88 ウェブサーチ No. 4



これは、ココットという、
陶器製の焼き型です。
このカタチ、
日本の折り紙（上参照）を
モチーフにして
いるのだけど
何の折り紙かわかるかな？

折ったことがあればわかるよね
詳しくは P.89
ウェブサーチ No. 5

おやっ 古い箱

これは何かな？



影人形（かげにんげ）道具と呼ばれるものだよ……詳しくは P.89

ウェブサーチ No. 6

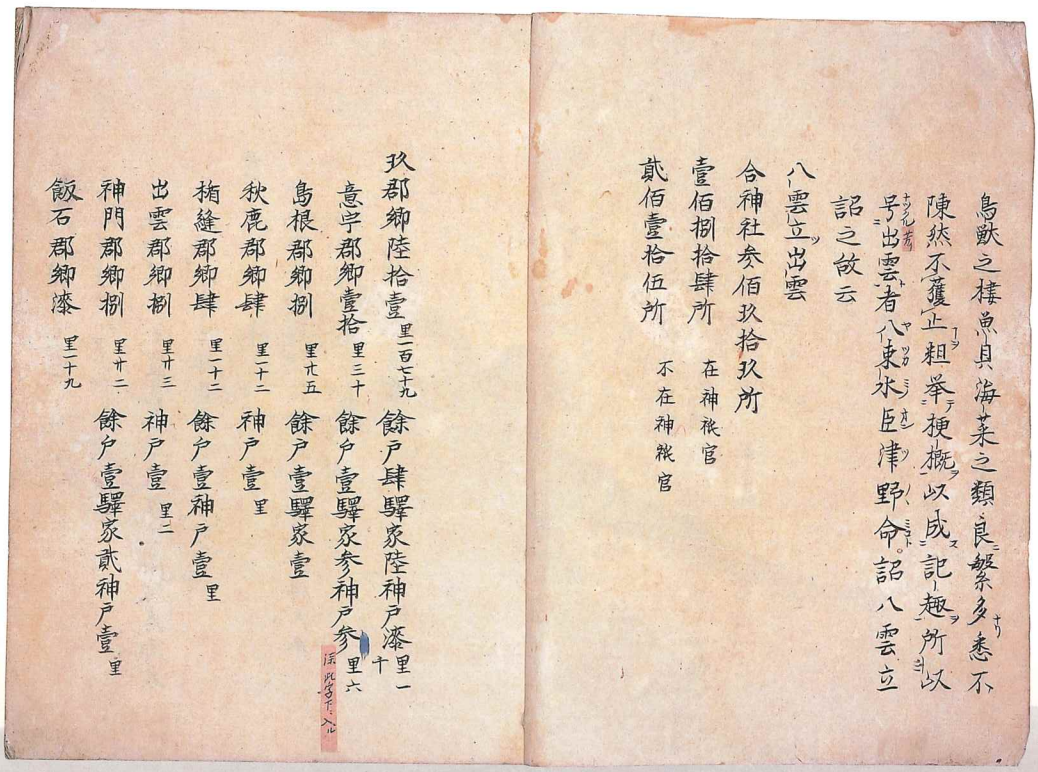
神社に使われた柱の写真、このしま模様の柱は何でしょう。



出雲市文化財課提供

これは有名だから、みんな知ってるよね・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.89 ウェブサーチ No. 7

この書物の名前はわかるかな？



鳥獣之属魚貝海菜之類良繁多悉不
陳然不獲止粗挙梗概以成記趣所以
号出雲者八束水臣津野命詔八雲立
詔之故云

八雲立出雲

合神社参佰玖拾玖所

壹佰捌拾肆所　在神祇官

貳佰壹拾伍所　不在神祇官

玖郡郷陸拾壹　里一百七十九　餘戸肆　驛家陸　神戸漆　里一十

意宇郡郷壹拾　里三十　餘戸壹　驛家参　神戸参　里六

島根郡郷捌　里九五　餘戸壹　驛家壹

秋鹿郡郷肆　里二十二　神戸壹　里

楯縫郡郷肆　里二十二　餘戸壹　神戸壹　里

出雲郡郷捌　里廿三　神戸壹　里二

神門郡郷捌　里十二　餘戸壹　驛家貳　神戸壹　里

飯石郡郷漆　里二十九

出雲の神の国引き神話などが書かれているよ……詳しくは P.89　ウェブサーチ No. 8

三人目はどこにいる?

この彫刻の作者は「考える人」を作ったロダンです。
実はこの作品には三人の人がいます。



彫刻は作品のまわりをぐるっとまわれるよ! ・・・・・・・・・ 詳しくは P.90 ウェブサーチ No. 9

出雲神話がテーマになっているこの著色(ちゃくしょく)板壁画は、
神社本殿のどこに描かれていたでしょう？



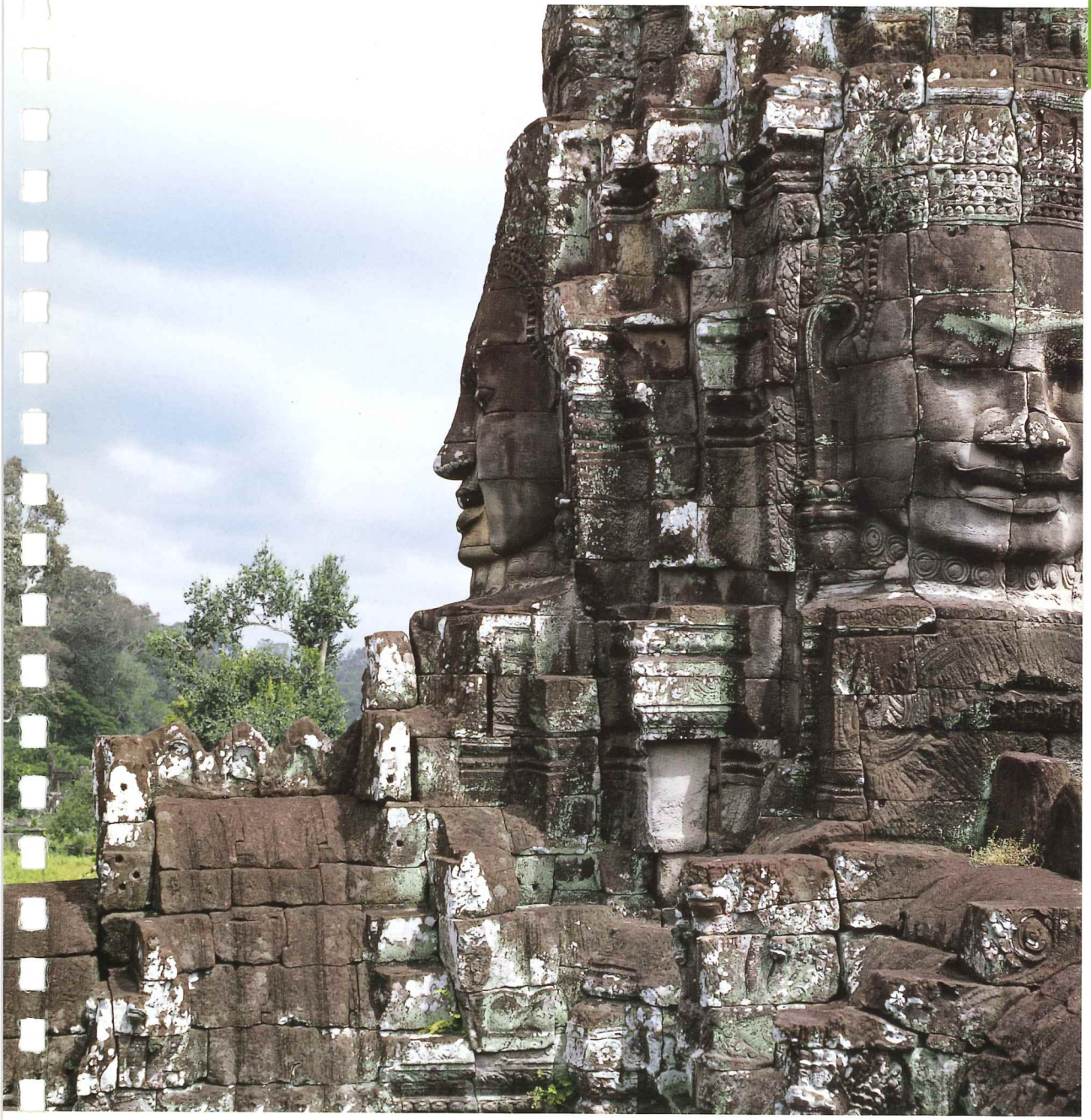
洋の東西を問わず、お参りする建物には描かれていることの多い場所だよ 詳しくは P.90 ウェブサーチ No. 10

おや、どこかで見かけた顔だな？



「見返り」と名のつく作品は、日本でも数少ないよ！ ・・・ 詳しくは P.90 ウェブサーチ No. 11

この写真は、どこの遺跡かな？



カンボジアにある有名な遺跡で、世界遺産にもなっています。 詳しくは P.90 ウェブサーチ No. 12

何に使う道具でしょうか？



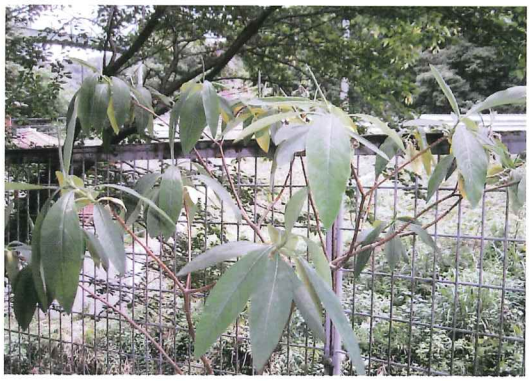
底にはおもしの石が入っています。

詳しくは P.91

ウェブサーチ No. 13



こうぞ



みつまた



がんぴ

さて、この植物は何になるでしょう？



では、これは何でしょう？

日本独特のものだね、みんなのお家にもきっとあるよ。詳しくは P.91

ウェブサーチ No. 14

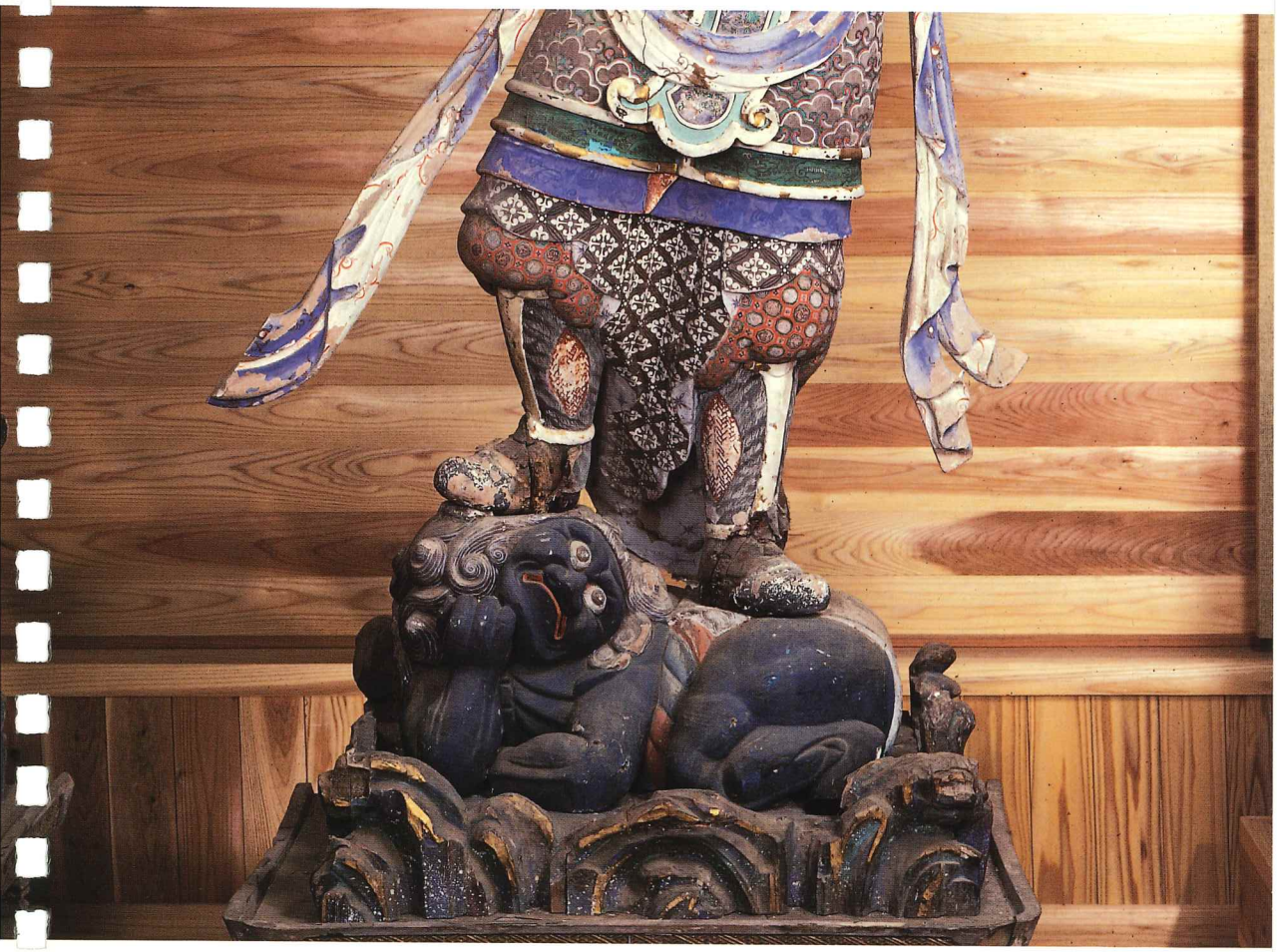
日本刀の切れ味を生む秘密は、このかたまりのなかにあるんだよ。なんという名前だろう？





たたら製鉄からうまれるものです……詳しくは P.91 ウェブサーチ No. 15

ユニークな邪鬼（じゃき）を踏みつけている像の名前がわかるかな？

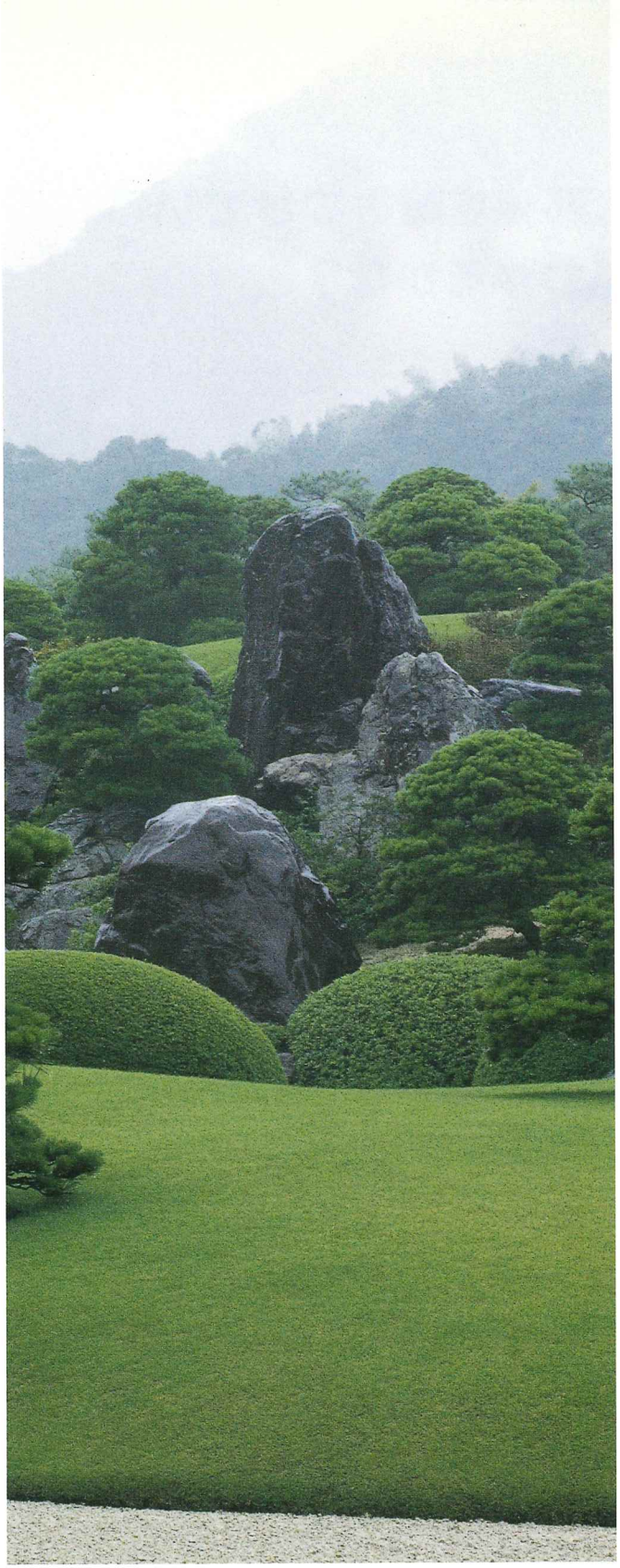


仏教を護る四天王像のひとつだよ。

詳しくは P.91

ウェブサーチ No. 16

中央に高く立つ石は何を表しているのでしょうか？



自然の何かを石で表現しているんだよ

・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.92 ウェブサーチ No. 17



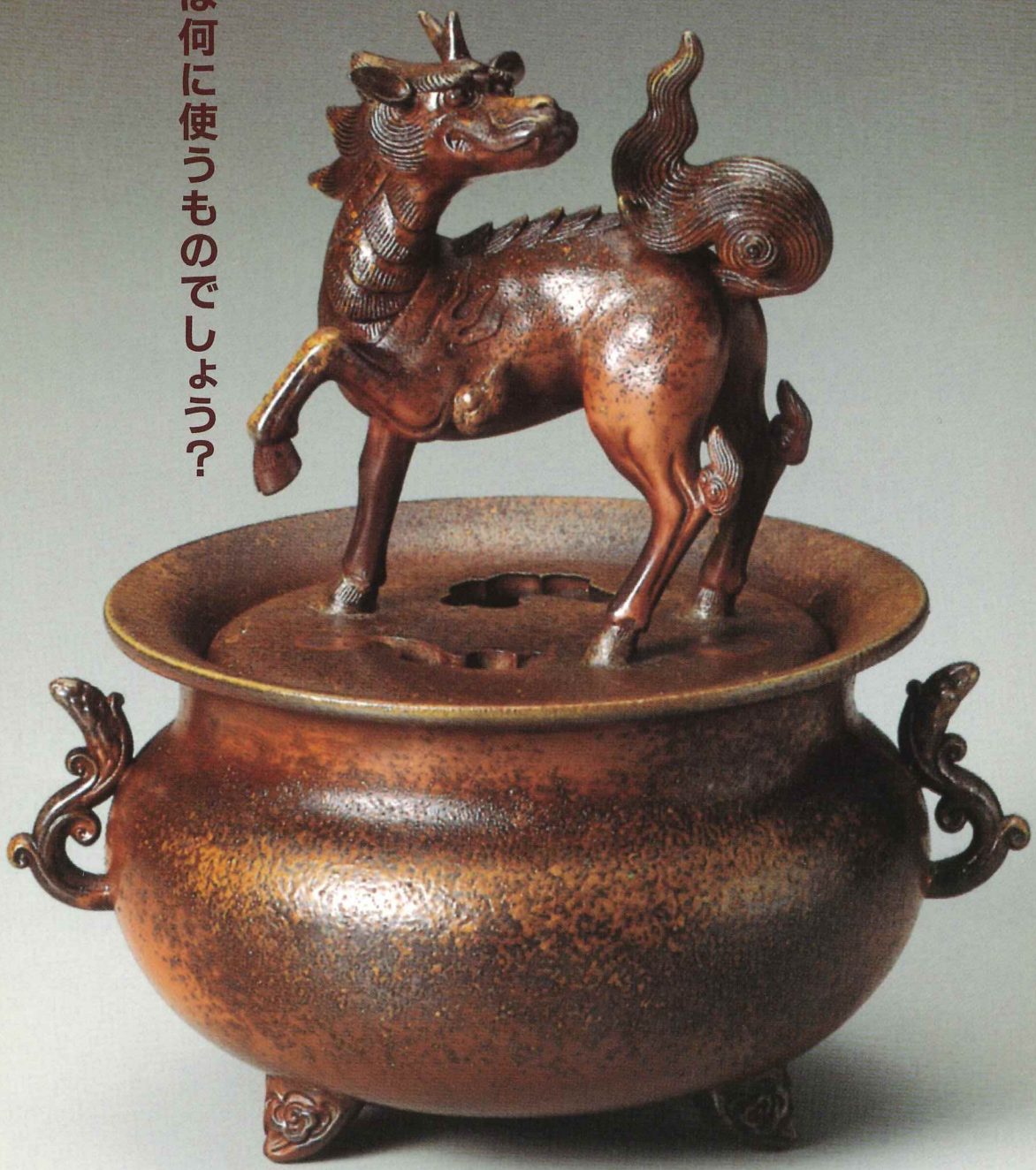
こんなところに家がある。



だれが住んでるんだろう?

昔の建物を復元したんだ。……詳しくは P.92 ウェブサーチ No. 18

これは何に使うものでしょう?



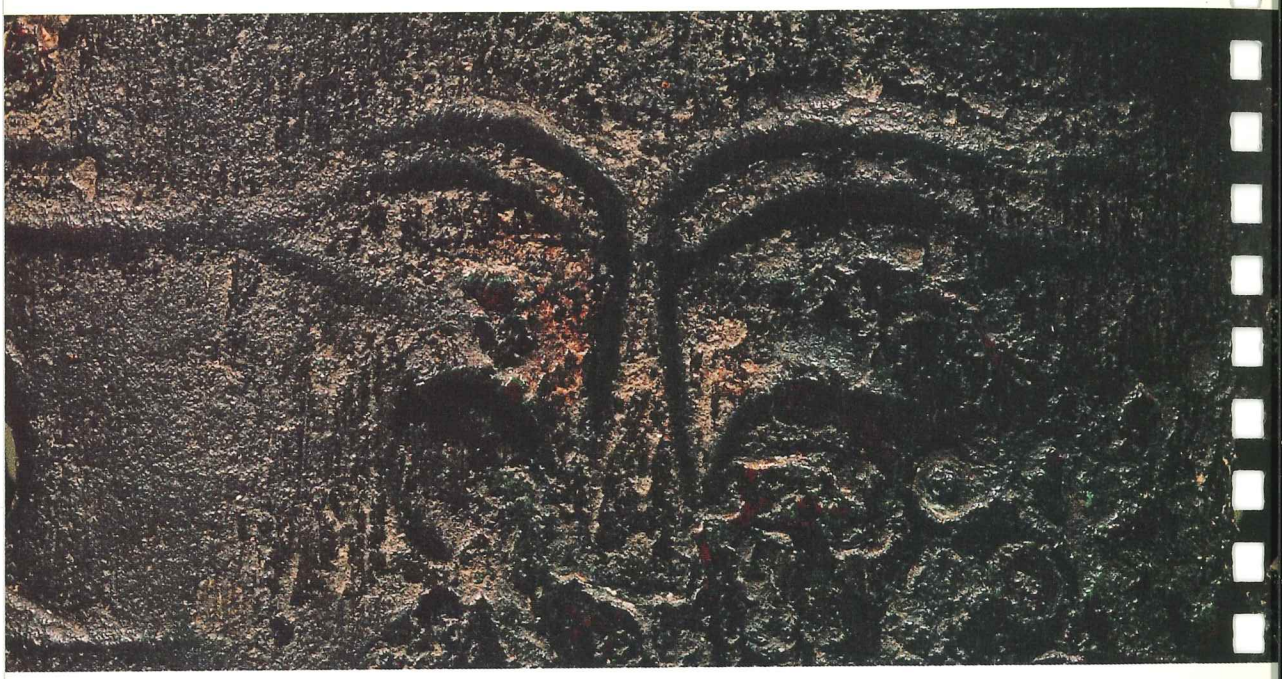
備前焼人間国宝 金重陶陽作。高さは19.9cm、横は18cmです。 詳しくは P.92 ウェブサーチ No. 19

古墳などから見つかる勾玉（まがたま）、山陰では主にどこで作られたのだろうか？



今は温泉としても有名です。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.92 No. 20

この「眼」の文様は何に描かれているのかな？



古代の祭に使われていたとされる道具だよ……詳しくは P.93

ウェブサーチ No. 21



犬かな？カバかな？何という生き物の模型でしょうか？

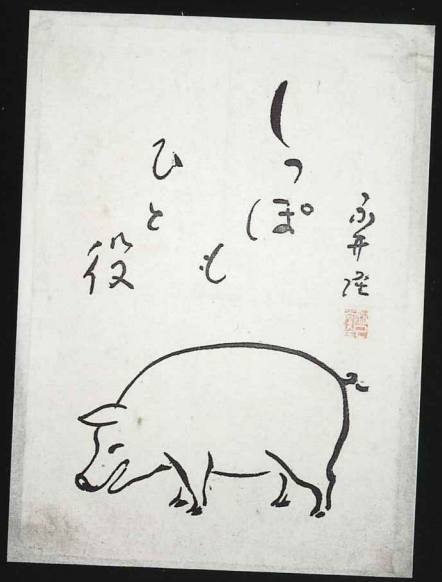
今はもう絶滅した生き物です。 詳しくは P.93 ウェブサーチ No. 22

加茂岩倉遺跡でみつかった銅鐸は全部で何個でしょうか？



ありがとうを英語で言うと ····· 詳しくは P.93 ウェブサーチ No. 23

やさしいタッチの絵だね。
描いた人はだれか知ってるかな？





戦後の名曲の一つ「長崎の鐘」はこの人の同名の本がモチーフになったんだよ 詳しくは P.93 ウェブサーチ No. 24



砂鉄はなぜ錆びない？

砂鉄黒いよね。じつはもうすでに……詳しくは P.94 ウェブサーチ No. 25



これは何のために
使用された
民具でしょう?

雪が降った日には大活躍です

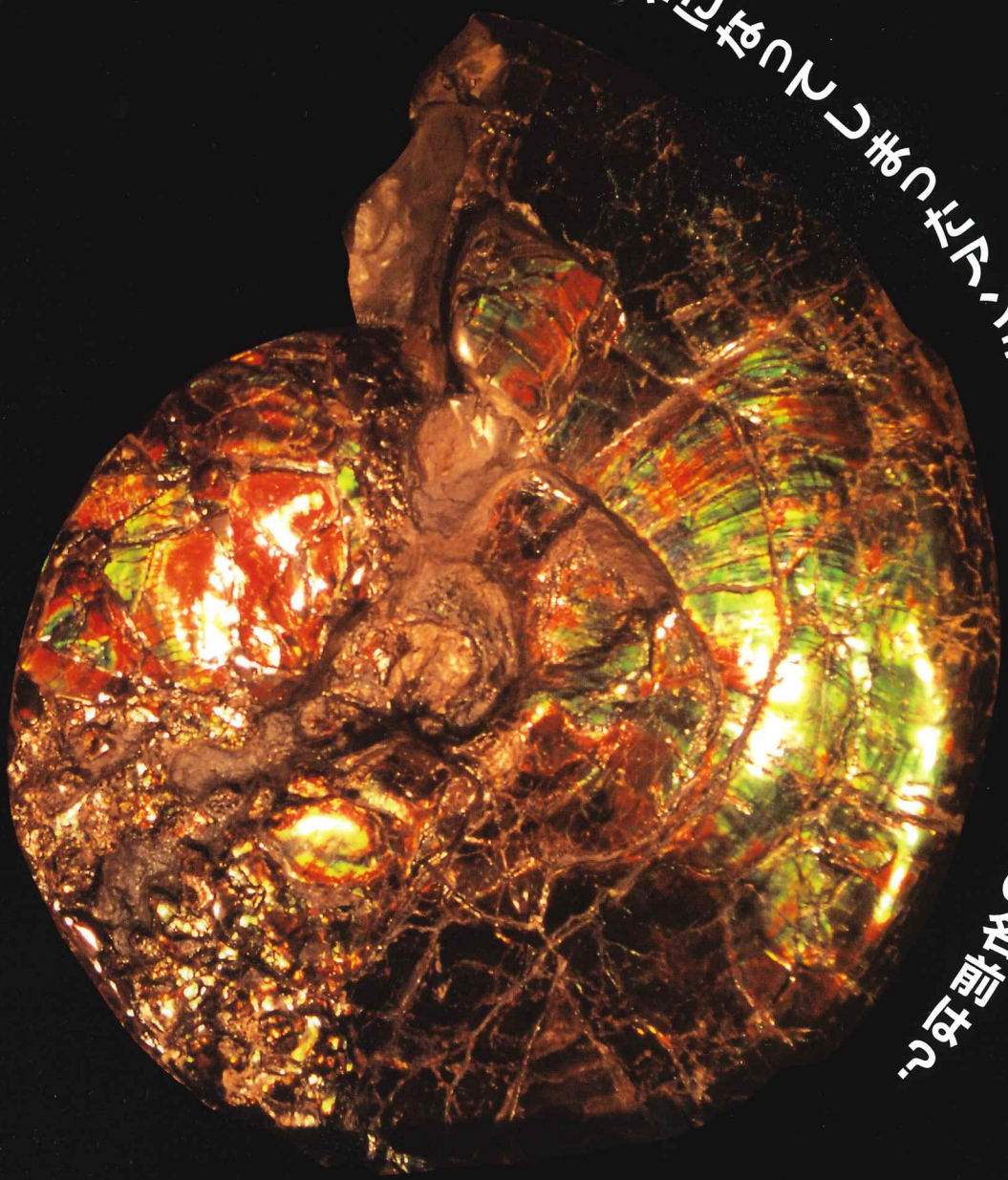
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.94

ウェブサーチ No. 26

この縁側、何故、二段になっているでしょうか。



昔、藩主と家来の間には大きな身分の差がありました。詳しくは P.94 ウェブサーチ No. 27



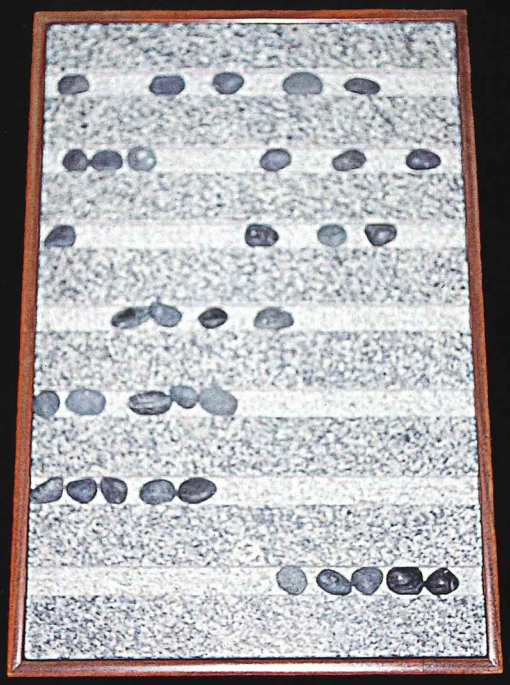
虹色に光るアンモナイト化石、この宝石の名前は？

まぶしいライトみたいにアンモナイトが光っているね・・ 詳しくは P.94 ウェブサーチ No. 28

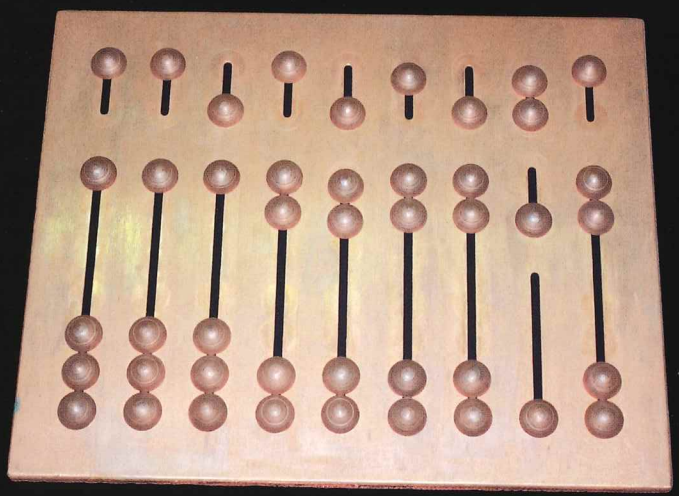
かわった形をしているね。
何に使われていたのだろう？



地図の記号では、銀行のマークになってるよ！ ・・・・・・・ 詳しくは P.95 ウェブサーチ No. 29



紀元前にも使われていたこれらの道具は、いったい何でしょう？
それぞれどこの国のものか、わかるかな？



計算に使う道具だよ

詳しくは P.95

ウェブサーチ No. 30

これは!! なんだろう。





冬になると大活躍!! 今とは形がぜんぜんちがう。・・・・・ 詳しくは P.95 ウェブサーチ No. 31

この模型は、何の断面でしょう?



炭の下にできている塊が重要なものなんだよ! ・・・・・・・ 詳しくは P.95

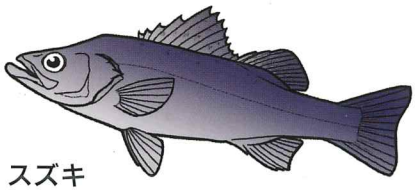
ウェブサーチ No. 32

荒神谷の銅剣は
なぜ358本も埋められたのかな？

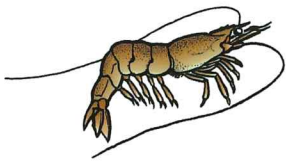


いろいろな説があるので答えは1つではありません ・・詳しくは P.96 ウェブサーチ No. 33

すがたカタチもさまざまな僕たちは、「宍道湖七珍」と呼ばれているんだ。



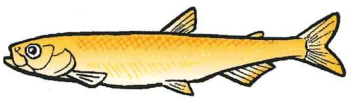
スズキ



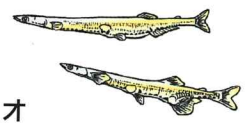
モロゲエビ（ヨシエビ）



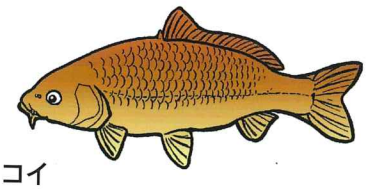
ウナギ



アマサギ（ワカサギ）



シラウオ



コイ



シジミ（ヤマトシジミ）

僕らの便利な覚え方、知ってるかな？

語呂あわせだよ、頭の文字をつなげると……詳しくは P.96 ウェブサーチ No. 34

かわった日本画、



だれが描いたの？

平田市ゆかりの日本画家が描いた作品です。・・・・・・・・・ 詳しくは P.96

ウェブサーチ No. 35

探検隊が
洞窟の奥で見たものは・・・
大きな石？



こっ、これは何だ？

古墳時代のもので日本で最も大きいといわれてるんだ。詳しくは P.96

ウェブサーチ No. 36



これはお花を作る教室みたいだね。
でも、何でできているんだろう?





この材料を使った化粧品もあるよ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.97 ウェブサーチ No. 37

樹齢推定600年の古木

この木は何本でしょう？



【ケヤキ】
●樹齢:推定600年（地上7mの一部）
●寸法:高さ370cm×幹回り410cm
●場所:岐阜県

不思議なかたちだね、良く見ると …… 詳しくは P.97 ウェブサーチ No. 38



このつぼは何を入れるためのつぼかな？

今は水洗が多いのでこのつぼは使わないね ・・・・・・・・・ 詳しくは P.97 ウェブサーチ No. 39

とてもきれい、金だね。でも

どうやって描いたのかな？



絵の具で描いたんじゃないよ、木の液を使うんだ。・・・・ 詳しくは P.97 ウェブサーチ No. 40

願開船（がんびらきぶね）といわれるこの船、
江戸時代の中頃に18ヶ月間、川や海を流れて、
大社町の稲佐の浜に流れ着いたものです。
では、どこの川から流されたのでしょう。



四国最大の川の名は？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.98 ウェブサーチ No. 41

この花かざりを何というでしょう？



お祭りで使うんだよ

詳しくは P.98

ウェブサーチ No. 42



中部地区の美術館・博物館

central area

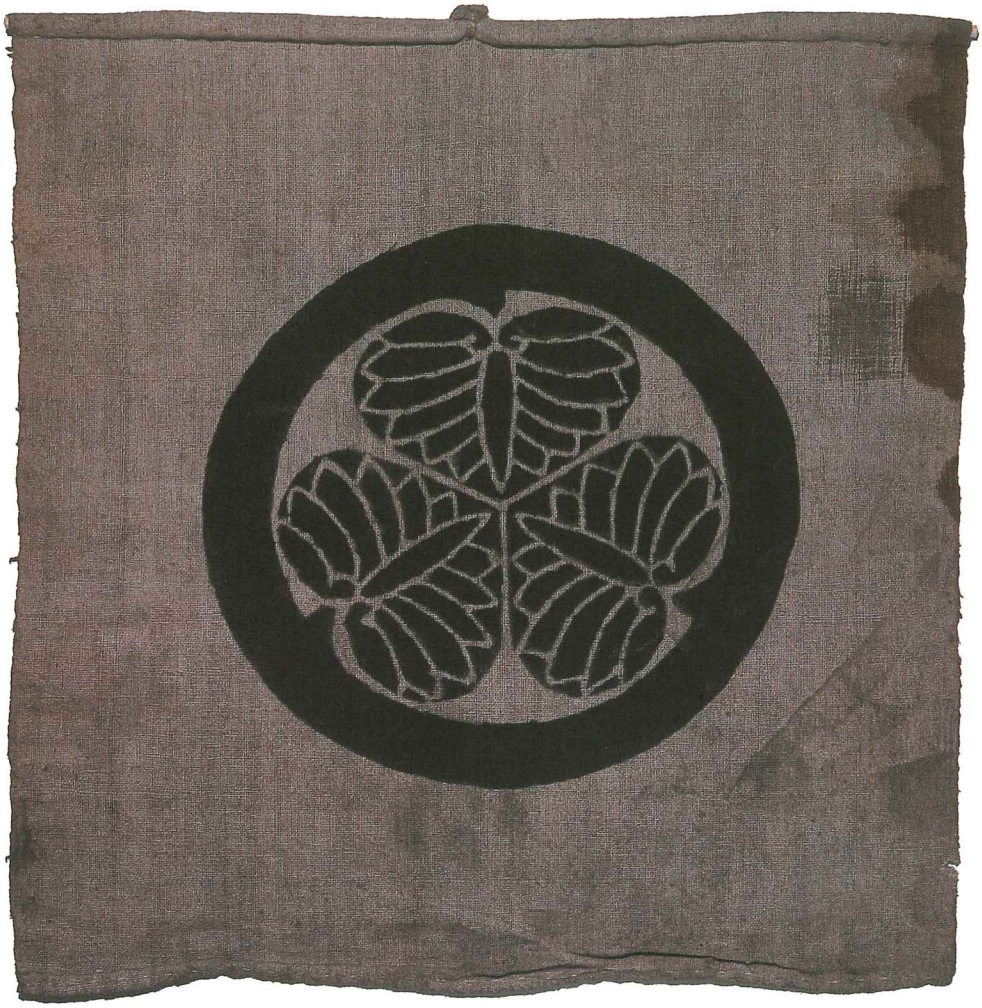
（掲載館数 全9ヶ所）



の謎







徳川家の
家紋のついたこの小旗は、
どのような物を
輸送する時に
付けられたのでしょう？

石見銀山といえばもちろん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.98 ウェブサーチ No. 43

このお宮に祀られている戦国時代の武将は誰でしょう？



「三本の矢」で有名な武将です。

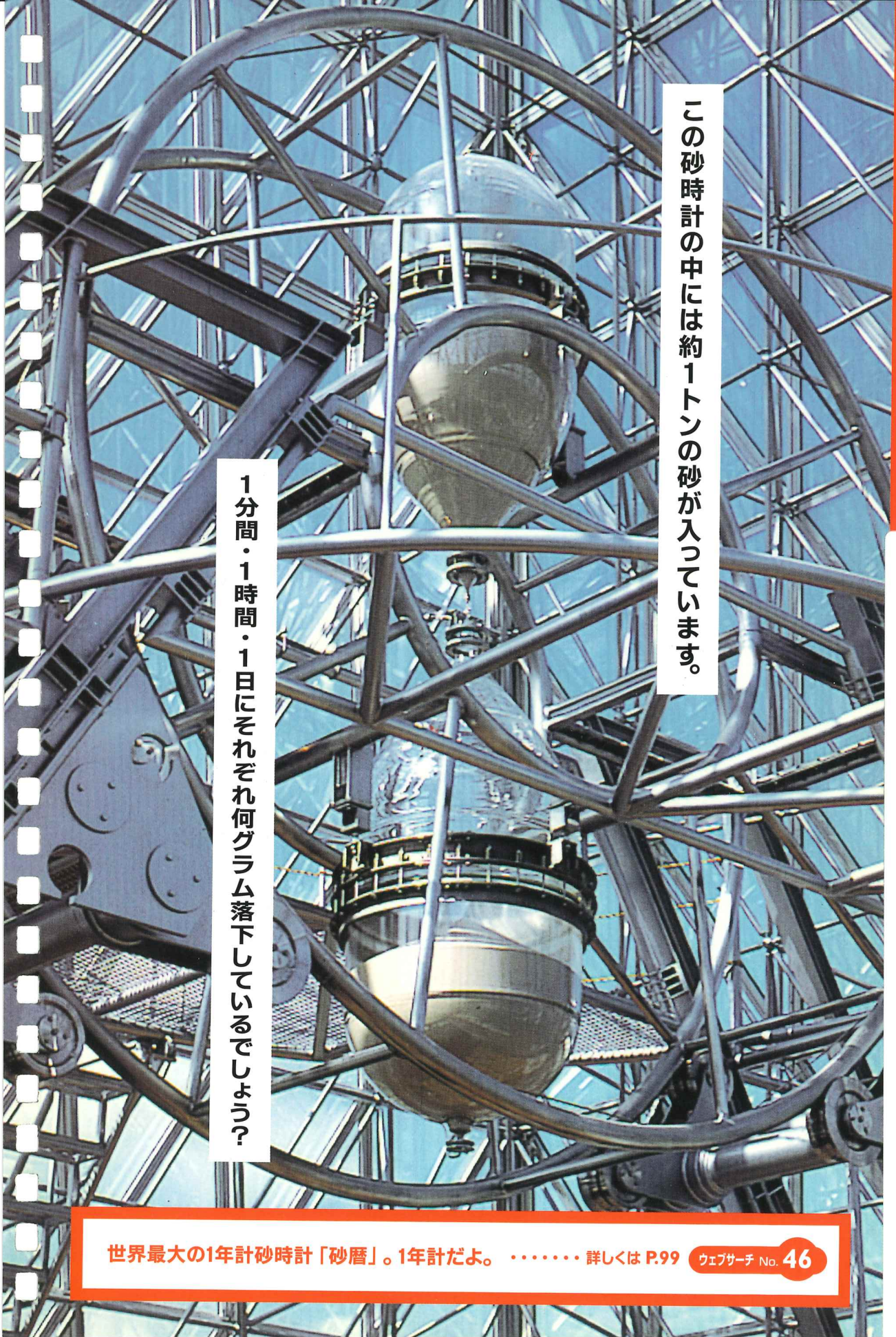
詳しくは P.98

ウェブサーチ No. 44

縄文時代の巨木林・三瓶小豆原（あずきばら）埋没林は どうして地中に埋もれたのかな？



三瓶山が今○○したら大変だ！……詳しくは P.99 ウェブサーチ No. 45



この砂時計の中には約1トンの砂が入っています。

1分間・1時間・1日にそれぞれ何グラム落下しているでしょう?

世界最大の1年計砂時計「砂暦」。1年計だよ。 ・・・・・・・詳しくは P.99 ウェブサーチ No. 46



これは何でしょう？

日本中にあるけど特にこの色が特徴なんだ

・・・・・・・・・ 詳しくは P.99

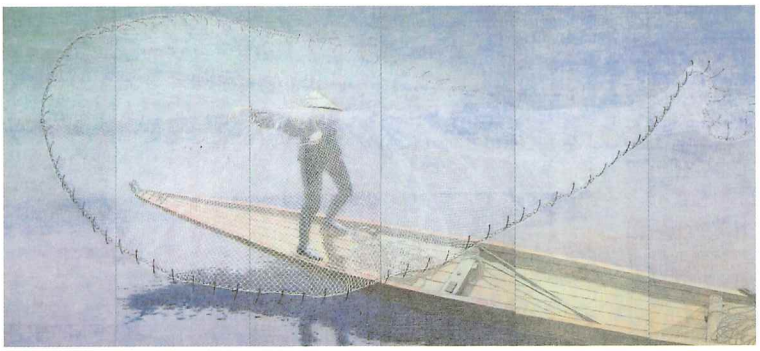
ウェブサーチ No. 47

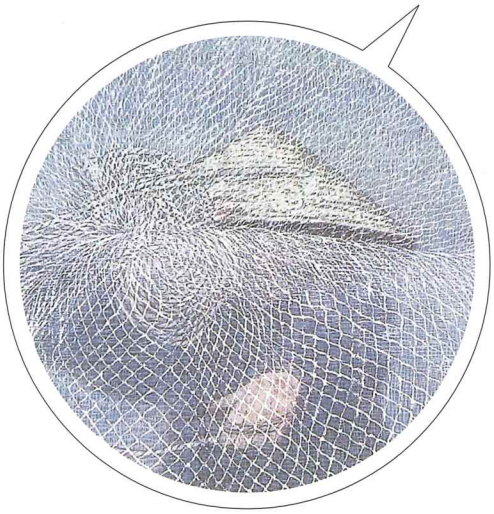
コレは何でしょう？



また、何の力によって動くでしょう？

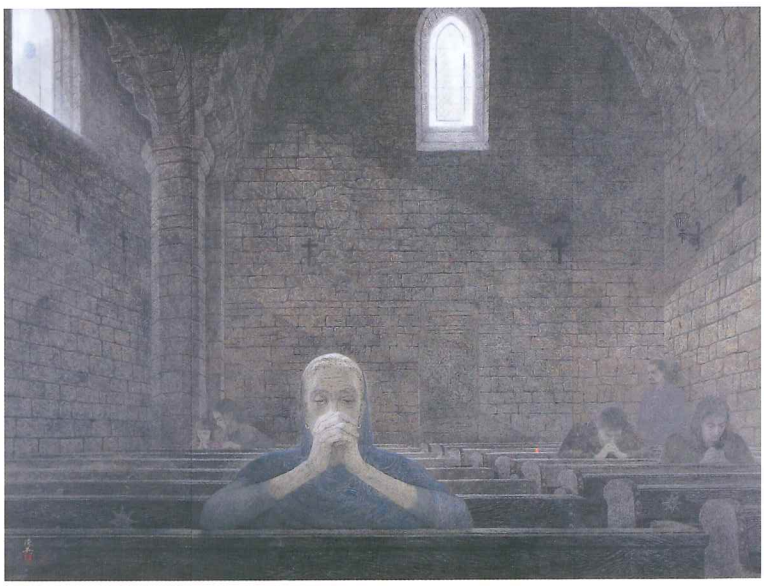
みんなの家にはゼンマイ式の小さな機械があるかもね 詳しくは P.99 ウェブサーチ No. 48





2つの絵は、何を使って描かれているでしょう？





西洋は油、東洋は・・・？日本画によく用いられます。・・・詳しくは P.100

ウェブサーチ No. 49



オオサンショウウオの目はどうなっているのかな？

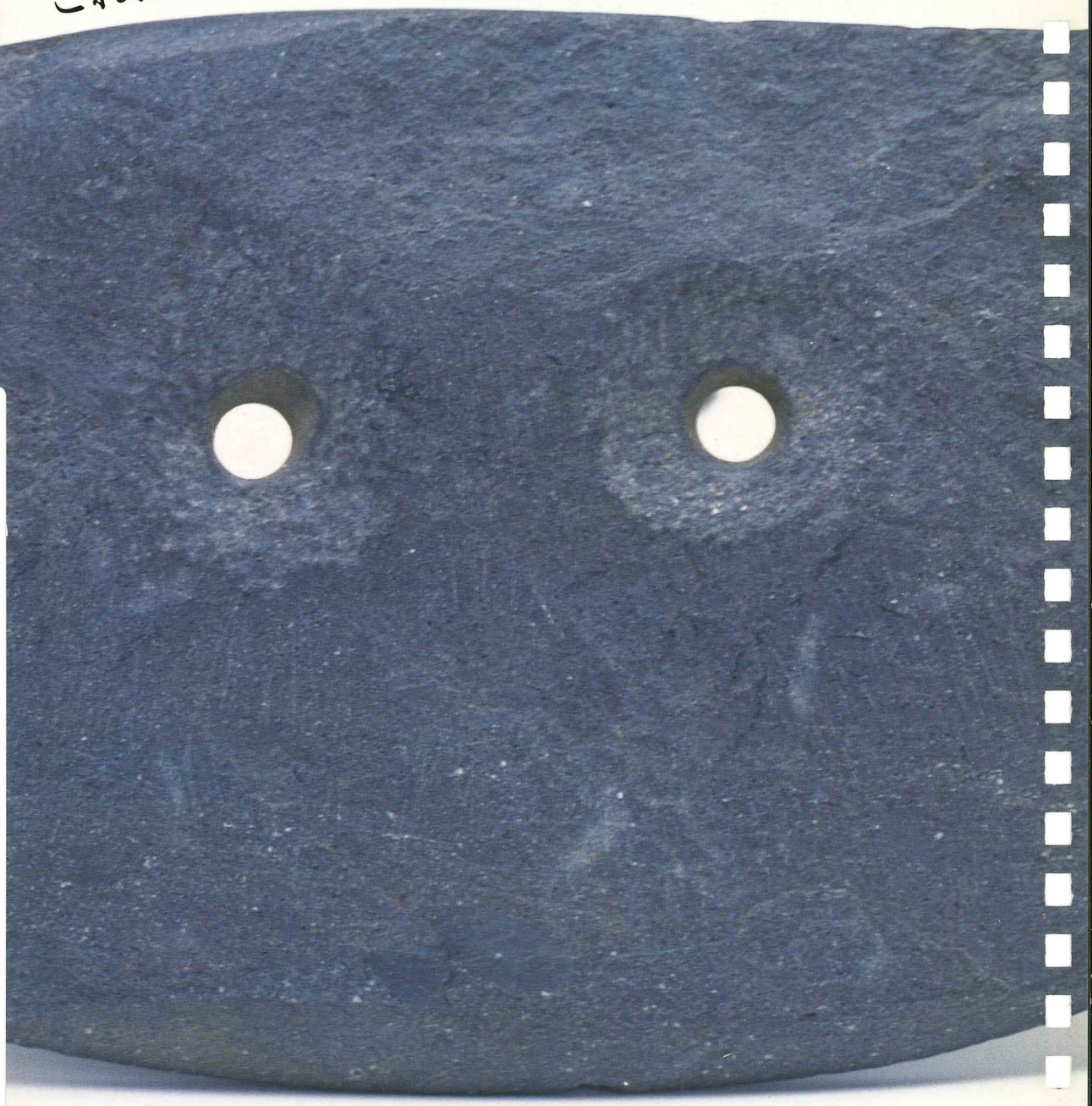
1.皮膚に埋もれて退化しているので、外見上目はない

2.写真の個体は目をつむっているだけで、まぶたのある大きな目がある。

3.近寄ってじっくり見ないと判らないほど、非常に小さな目がある

大きくなるとほとんど目が見えなくなってしまうんだ・・・詳しくは P.100 ウェブサーチ No. 50

これは何かな？石の仮面か？



収穫（しゅうかく）の時に使う道具です。・・・・・・・・・・・・・詳しくは P.100

ウェブサーチ No. 51

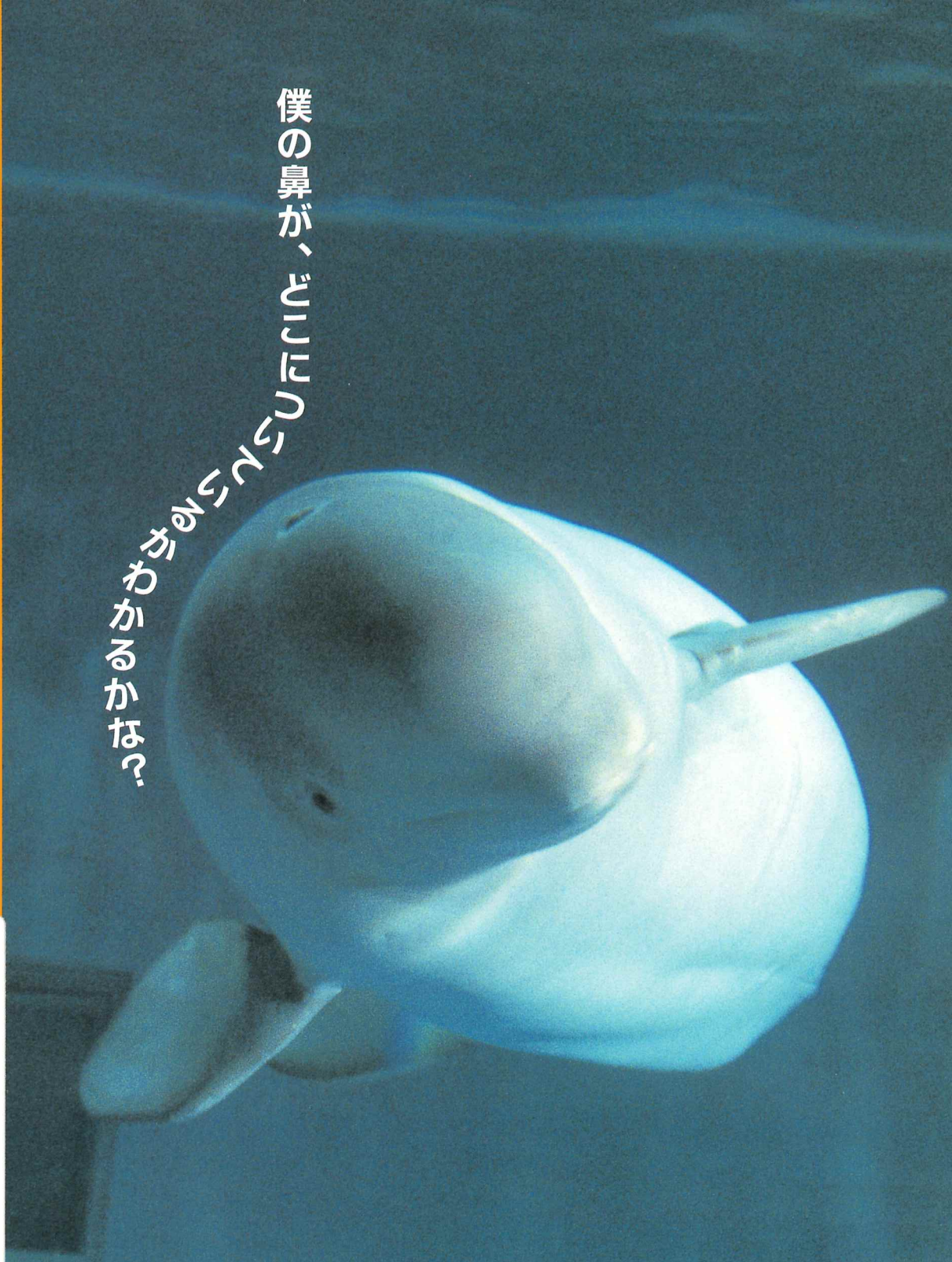
西部地区の美術館・博物館

western area

（掲載館数 全23ヶ所）



の記述



アクアスで人気のシロイルカだよ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・詳しくは P.100 ウェブサーチ No. 52

これは何かの一部分を拡大したものです。



さあ、これは何でしょう？

3月3日に飾る御人形さんと言えば ……詳しくは P.101 ウェブサーチ No. 53



これは何に使用したものでしょう？

今でも使うものだよ。毎日使わないとダメだよ。……詳しくは P.101

ウェブサーチ No. 54

これは



鬼瓦です。

この瓦は何の建物に使われていたものでしょうか？

昔、浜田にあった大きな建物に使ってあったんだよ・・・詳しくは P.101

ウェブサーチ No. 55

どこの国の子どもたちが描いた絵か、あててみよう！



1

インド？



2

メキシコ？



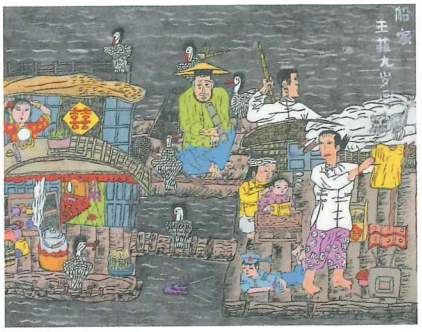
3

ロシア？



4

アメリカ？



5

フランス？



6

中国？

世界の子どもたちが描いた絵だよ、すごく特徴があるね。詳しくは P.101

ウェブサーチ No. 56

この道具、
いったい何に使うものでしょう?



お正月に使う例のモノの小さい版だよ・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.102 ウェブサーチ No. 57



これは、絵の一部を拡大したものです、

何かの動物の角をイメージして描いたのですが、

何をイメージしているかわかりますか？

まっかなお鼻で有名な動物です。この本を横にしてみるとよくわかるよ！ 詳しくは P.102 ウェブサーチ No. 58

秦記念館にあるメダルです。

何のメダルだと思いますか？



モデルは秦佐八郎（右）とエールリッヒ博士です……詳しくは P.102 ウェブサーチ No. 59



これなんに見える？



庭の一部で池に浮かぶ島だよ

詳しくは P.102

ウェブサーチ No. 60



喜阿弥焼（きあみやき）



白上焼（しらがみやき）

これは何につかう物かな？

この名前は何だろう？

神棚（かみだな）を見てごらん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.103 ウェブサーチ No. 61

この作品のモデルはだれでしょう？



この作品は「雪舟の郷記念館」にあります。……詳しくは P.103 ウェブサーチ No. 62

この仏画の中にみえる細くて白い線（道）。

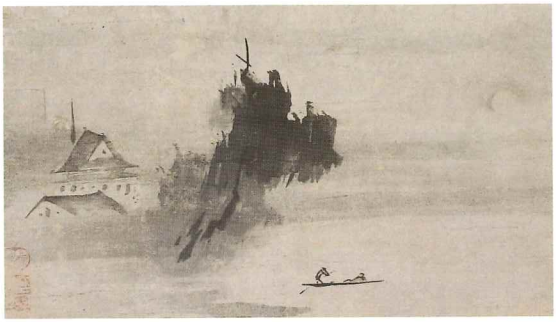


これをたどって行くと

ある所へ行けると、仏教は教えていますが、

さてどこでしょう？

苦しみ、悲しみのない世界を何という？…… 詳しくは P.103 ウェブサーチ No. 63



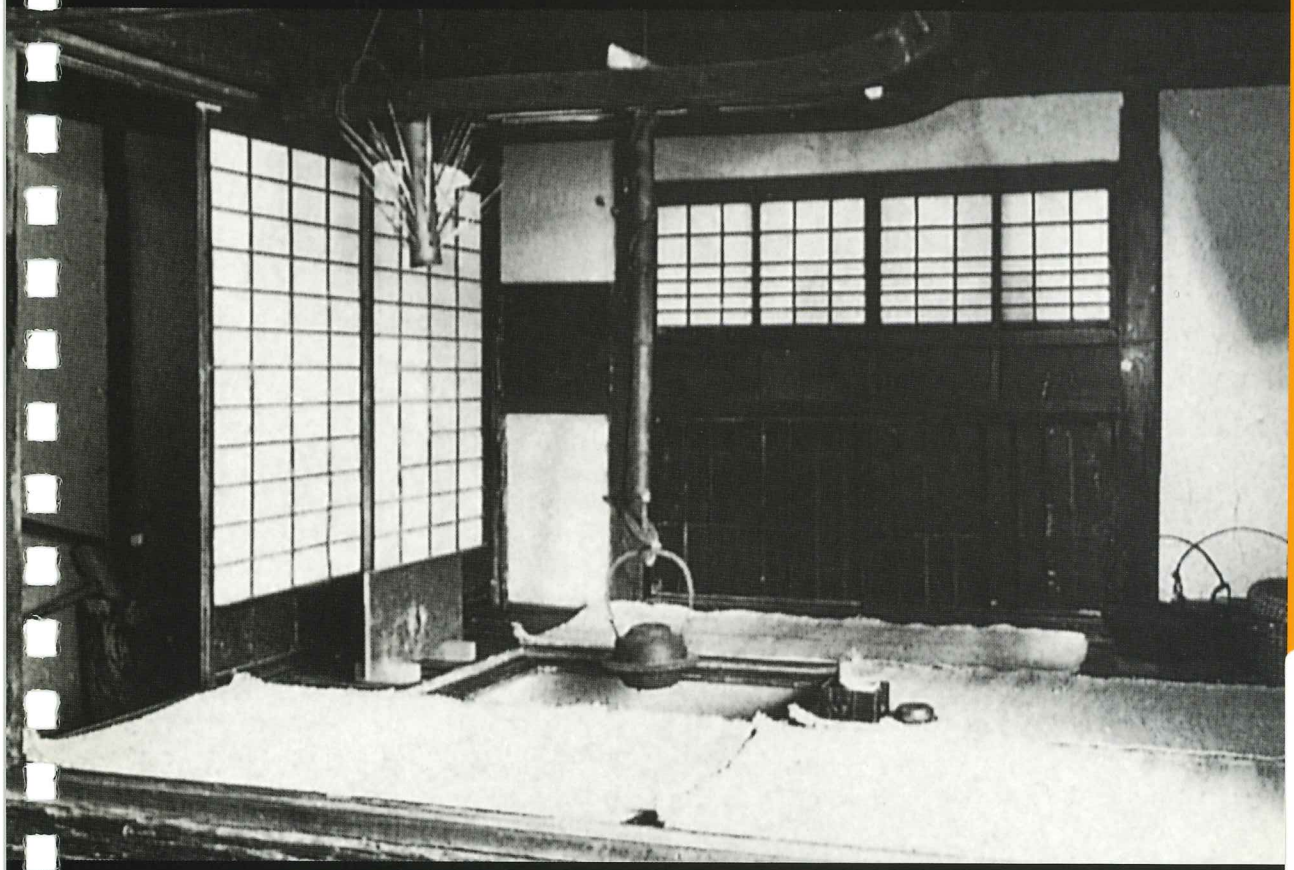
墨をあらあらしく塗った絵です。

うーん？この部分はいったい何を描いているんだろう？



墨を紙にぶつけたような描き方だね。よーく見てみると 詳しくは P.103 ウェブサーチ No. 64

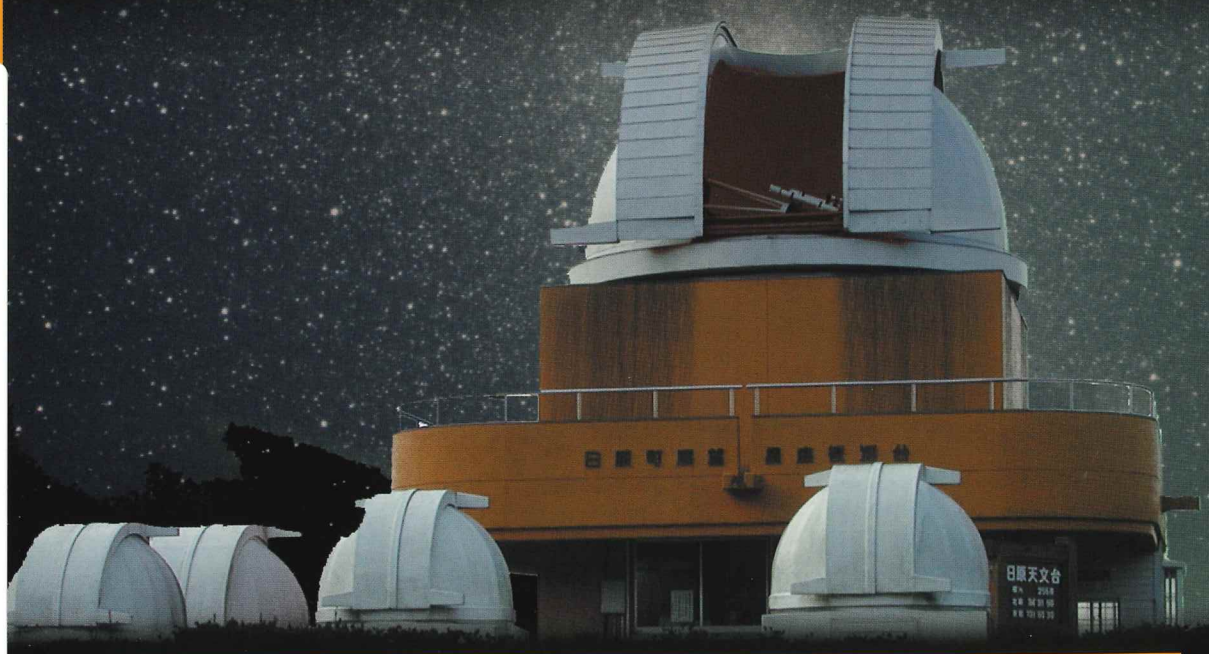
日原町立歴史民俗資料館、2階に移築された「いろり端」は
何時代に建築されたものでしょうか？



徳川幕府といえば ····· 詳しくは P.104 ウェブサーチ No. 65

月面のまあるい地形を
クレーターといいますが
どうやってできたのでしょう?





そういえば美保関にも落ちてきたぞ・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.104 ウェブサーチ No. 66

この「ふしぎなえ」を描いた人は誰でしょう？



「ふしぎなえ」という本の作者でもあります。 ・・・・・・・ 詳しくは P.104

ウェブサーチ No. 67

この写真はベトナム戦争（1960年～1973年）の時に

津和野出身のカメラマンによって撮影されました。

その写真家とは？



次の三人のうちのひとりだよ

一ノ瀬泰造・桑原史成・ロバート・キャパ

詳しくは P.104

ウェブサーチ No. 68





葛飾北斎には、このような作品もあるんだよ。

さて、題材とした昔話はいったい何でしょう。

左上に描かれているのは「すずめ」だよね、という事は 詳しくは P.105 ウェブサーチ No. 69

何を作るための道具だったでしょうか？



こませ



つつろ

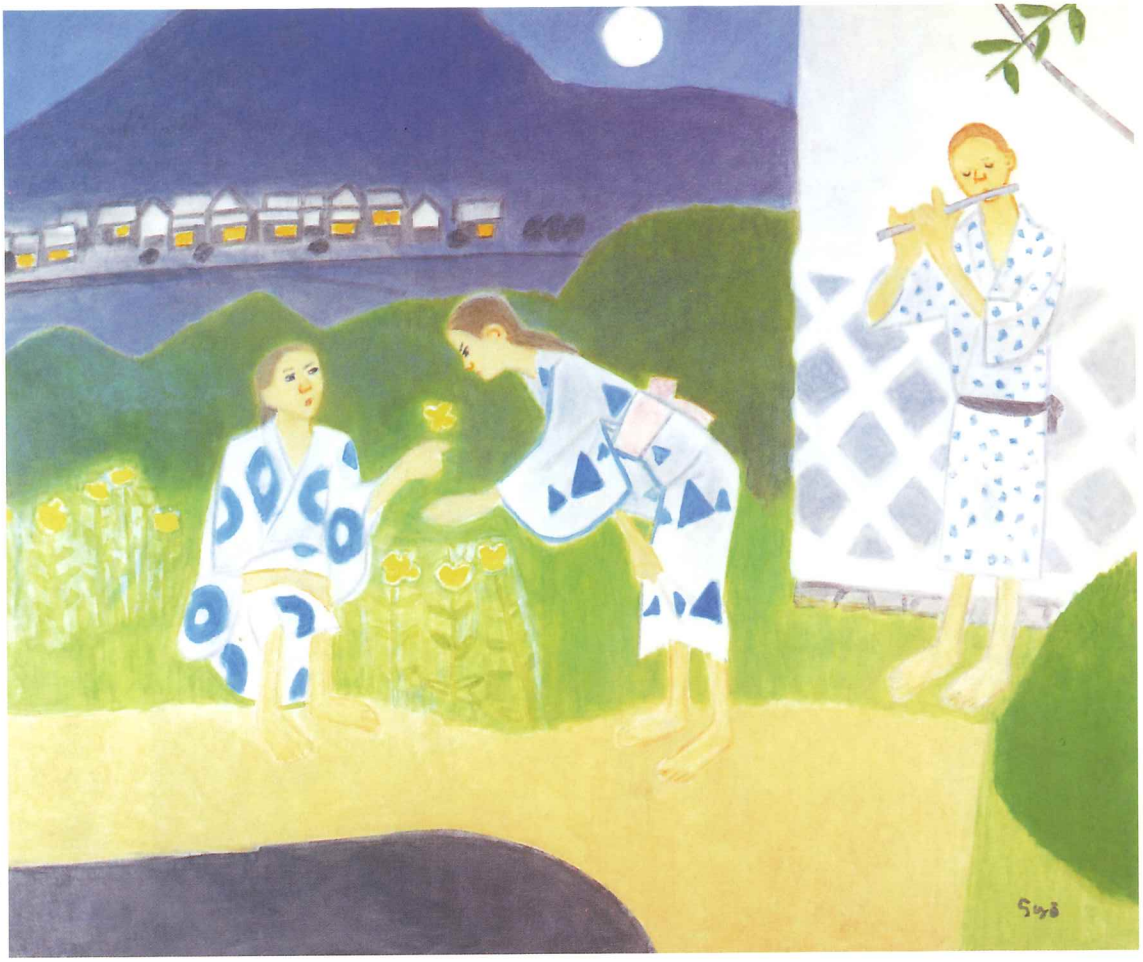
「稲わら」を使って、お米などを入れる物を作る道具だよ 詳しくは P.105 ウェブサーチ No. 70

画家 高橋由一が描いたこの人物は誰？



津和野出身の哲学者。多くの学術用語の訳語を考えました。詳しくは P.105

ウェブサーチ No. 71



郷土出身の画家
中尾彰が
少年時代の思い出を
描いた
「月夜の笛」という
作品です。

作者の故郷はどこでしょう。

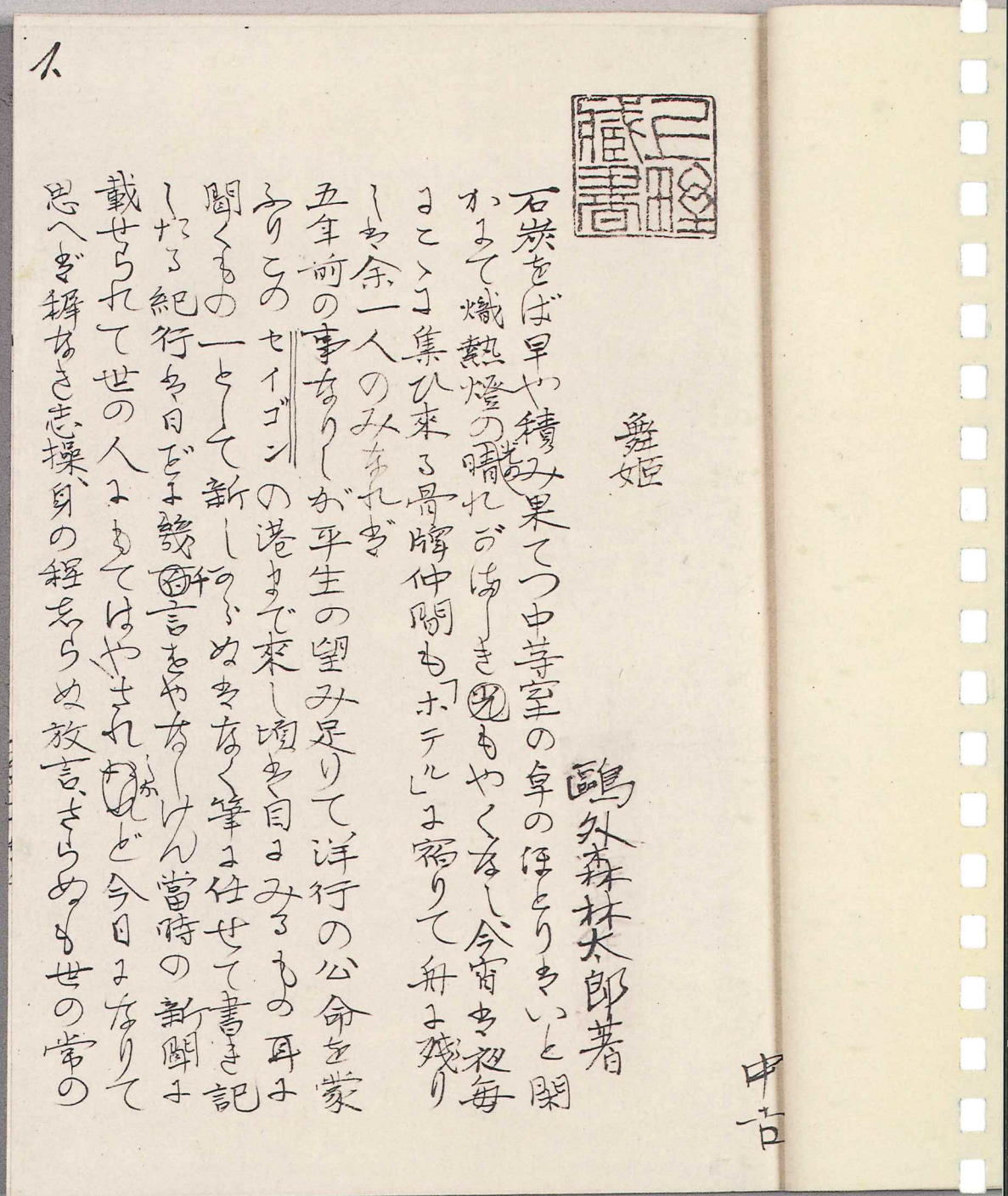
山陰の小京都と呼ばれ、全国的に親しまれています。 詳しくは P.105 ウェブサーチ No. 72

この人形はどこで作られたかな？



ボンジュールはどこの国のことば ・・・・・・・・・・・・・・・・ 詳しくは P.106 ウェブサーチ No. 73

鷗外が
留学したドイツを舞台に創作した
作品のタイトルは？



主人公の名前は豊太郎です。……詳しくは P.106 ウェブサーチ No. 74

隠岐地区の美術館・博物館

oki area

（掲載館数 全3ヶ所）



の





これはケモノの毛皮です。
何のケモノでしょう？



もう絶滅したケモノですが、最後は島根県に生息していました。詳しくは P.106 ウェブサーチ No. 75

これは 田んぼ で使う道具だよ。

何に 使っていたんだろう？



おじいちゃんやおばあちゃんに聞いたらわかるかも？ 詳しくは P.106 ウェブサーチ No. 76



海で使う道具だけど、
わかるかな？

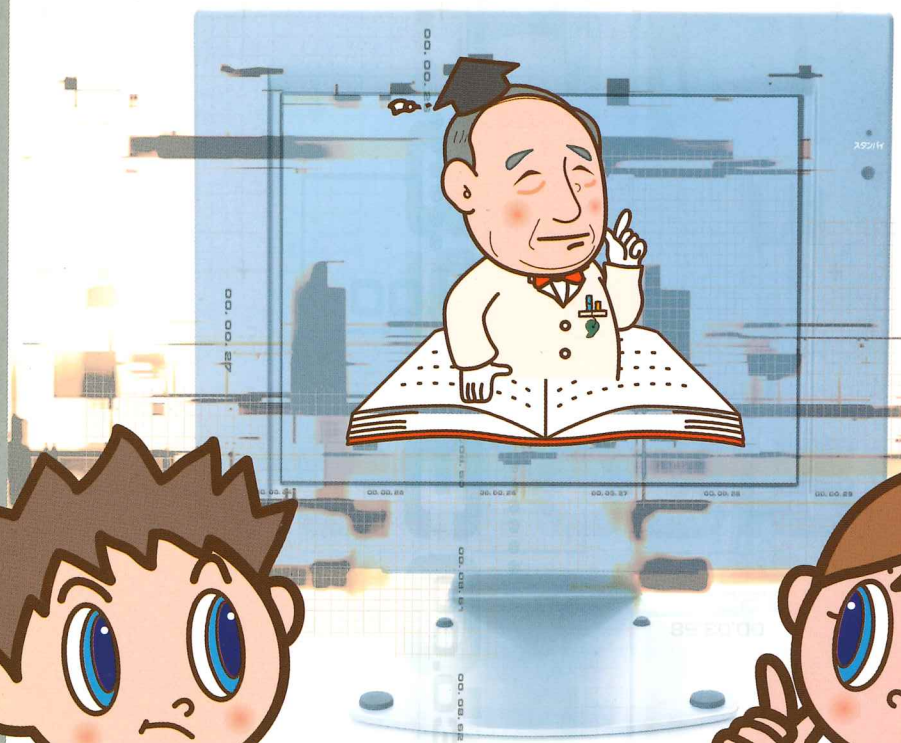


これで捕れた動物は海士町では砂おろしと言われ、大歳や節分に食べると一年間元気で過ごせると言われているんだ！

・・・・・詳しくは P.106 ウェブサーチ No. 77

answer

各美術館・博物館の詳しい情報はホームページで見る事ができます。
http://www.v-museum.pref.shimane.jp/





凡例

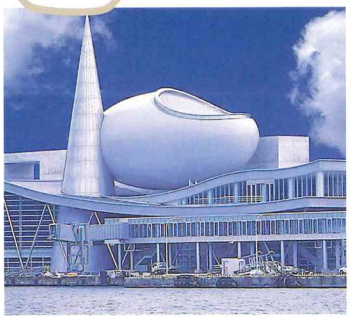
- 駐車場あり 有料・無料・台数
- 館内撮影禁止
- レストラン有
- コインロッカー有
- 障害者対応施設
- 売店有
- 喫茶店有



いん石

メテオプラザ

ウェブサーチ No. 1



宇宙の神秘「美保関いん石」の常設展示と、宇宙関連映像の上映

〒690-1311松江市美保関町七類3246-1
電話 0852-72-3939
FAX 0852-72-3888
開9:00～17:00
休水曜日（祝日の場合翌日）
交JR松江駅よりバス45分七類港下車

P無料

1992年（平成4年）12月10日

美保関いん石（せき）が落下してからもう10年以上になります。



郷土の歴史と民俗

鹿島歴史民俗資料館（かしま れきしみんぞくしりょうかん）

ウェブサーチ No. 2



『出雲国風土記』が伝える古代狭田の国の資料を展示

〒690-0803松江市鹿島町名分1355-4
電話 0852-82-2797
FAX 0852-82-2797
開9:00～17:00（入館～16:30）
休月（祝日の場合翌日）・年末年始
交JR松江駅より一畑バス恵曇・古浦・片句方面行佐太神社前下車徒歩2分

P無料48台 大型バス5台

土器が作られた時代が違う

1つは4千年前の縄文土器、1つは2千年前の弥生土器。その間2千年も時間が経っているからです。



縄文土器（下）



弥生土器（上）

文豪の個人史

小泉八雲記念館（こいずみやくも きねんかん）

ウェブサーチ No. 3



ラフカディオハーンの遺品を展示公開する世界唯一の施設

〒690-0872松江市奥谷町322
電話 0852-21-2147
FAX 0852-21-2156
開8:30～18:30（10～3月は～17:00）（入館締切は20分前）
休年中無休
交JR松江駅より松江ウォーカーバス・レイクラインバス小泉八雲記念館前下車

小泉八雲

数々の作品で日本を紹介し、日本の理解者だった小泉八雲ことラフカディオ・ハーンは、こんなカエルの絵も描いています。



茶道美術

田部美術館（たなべ びじゅつかん）

ウェブサーチ No. 4



松平不昧公をはじめ茶道具に関わる書画・陶磁・漆器・焼物の名品

〒690-0888松江市北堀町310-5
電話 0852-26-2211
FAX 0852-22-9130
開9:00～17:00（入館～16:30）
休月（祝日を除く）・12/29～1/1
交JR松江駅より松江ウォーカーバス・レイクラインバス小泉八雲記念館前下車

松平不昧（ふまい）筆「野生」横一行書



お茶の殿様として知られる松江藩七代藩主、松平治郷（不昧）50才代の書です。

答え Answer

E.ガレのジャポニスム

松江北堀美術館（まつえきたほりびじゅつかん）

ウェブサーチ No. 5



フランス、アール・ヌーヴォー期の工芸家エミール・ガレの世界有数「陶器」コレクション

〒690-0888松江市北堀町333
電話 0852-31-6811
FAX 0852-31-7533
開 9:00～17:00（入館は30分前まで）
休 月（祝日の場合は翌日）・年末年始（予定）
交 JR松江駅よりレイクラインバス小泉八雲記念館前下車徒歩2分

P 無料2台

だまし舟

これは、ココットという、小さな耐熱性の陶器製焼き型。スフレ皿やスフレ型とも呼ばれます。日本の折り紙がモチーフなんて面白いですね。



松江の歴史と民俗

松江郷土館（興雲閣）（まつえきょうどかん こううんかく）

ウェブサーチ No. 6

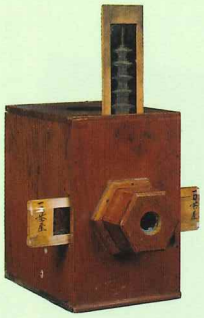


建物は、城山公園内にある県有形文化財の明治の洋風木造建築

〒690-0887松江市殿町1-59
電話 0852-22-3958
FAX 0852-22-3958
開 8:30～17:00（入館～16:40）
休 年中無休
交 JR松江駅よりバス県庁前下車徒歩5分

P 有料42台
大手前広場駐車場利用

江戸時代の映写機



大垣の影人形道具といわれ、写し絵という映像アニメーションの前身に使われたものです。

総合美術

島根県立古代出雲歴史博物館（しまねけんりつこだいいずもれきしはくぶつかん）

ウェブサーチ No. 7



平成19年春　開館予定

出雲市大社町杵築東地内
電話
FAX
開
休　未定
交

P 有

出雲大社本殿を支えた巨大な柱

1本の柱の直径は約1.3mもあり、これを3本束ねると約3mにもなります。



総合文化

島根県古代文化センター（しまねけんこだいぶんか）

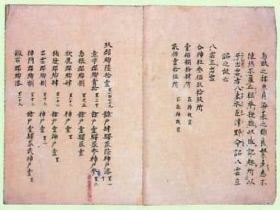
ウェブサーチ No. 8



島根県の歴史文化を総合的に調査・研究し、情報発信する研究機関

〒690-0887松江市殿町1
電話 0852-22-6281
FAX 0852-22-6728
交 JR松江駅よりバス県庁前下車徒歩1分（県立博物館内）

出雲国風土記



今から約1300年前の出雲地方の地名や特産物、伝承などが書かれています。

総合美術

島根県立美術館（しまねけんりつびじゅつかん）

ウェブサーチ No. 9



夕日の美しい宍道湖のほとりでゆったりと芸術に親しめる

〒690-0049松江市袖師町1-5
電話 0852-55-4700
FAX 0852-55-4714
開 10:00～18:30（3月～9月・日没後30分まで）
休 月（祝日の場合翌日）・12/28～1/1
交 JR松江駅より南循環線内まわりバス県立美術館下車
P 無料185台 大型バス12台
一部

後ろに隠れてた！

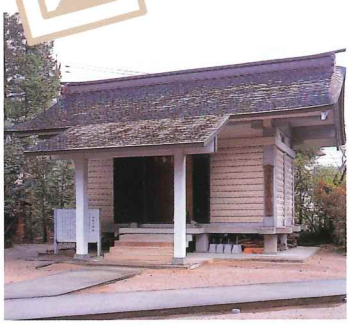
美術館でみつけてね！



古代の彩色壁画

八重垣神社収蔵庫（やえがきじんじゃしゅうぞうこ）

ウェブサーチ No. 10



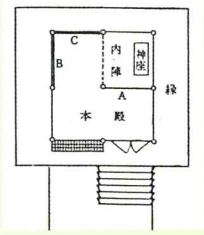
重要文化財の素盞嗚尊・稲田姫命など六神像の壁画

〒690-0035松江市佐草町227
電話 0852-21-1148
FAX 0852-22-9156
開 9:00～17:00
休 年中無休
交 JR松江駅より一畑バス八重垣行終点下車（バス20分）

P 無料150台

C壁

板絵は図のように、本殿内の3壁面に残っており、この壁画はC壁にありました。A壁、B壁の板絵はどのような人物か、ぜひ見学に来てください。



出雲の考古史

八雲立つ風土記の丘資料館（やくもたつふどきのおかしりょうかん）

ウェブサーチ No. 11



古代出雲の歴史を体感できる史跡と出土品

〒690-0033松江市大庭町456
電話 0852-23-2485
FAX 0852-23-2429
開 9:00～17:00（入館～16:30）
休 月（祝日の場合翌日）・年末年始・展示替え期間
交 JR松江駅より一畑バス風土記の丘入口下車

P 無料50台

「見返りの鹿」埴輪（重要文化財・平所遺跡出土）

鹿埴輪の角は、はじめから取り外しができるように作られています。写実的に作られたこの埴輪は、製作者のいろいろな思いが込められている見事な作品です。



個人の撮影記録

島根県並河萬里写真財団（しまねけんなみかわばんりしゃしんざいだん）

ウェブサーチ No. 12



シルクロードをはじめとする世界の文化財を撮影した並河萬里氏の写真を収蔵
（非展示施設）

〒690-0131松江市打出町33
電話 0852-36-5300
FAX 0852-36-5390
開 8:30～17:15
休 土、日、祝祭日、年末年始
交 一畑電鉄朝日ヶ丘駅より徒歩15分

アンコール・トム遺跡



カンボジアにある遺跡です。彫られているのは、観世音菩薩（かんぜのんぼさつ）の顔で、蓮（はす）の王冠をつけています。

答え Answer

八雲の民俗

八雲町郷土文化会館（やくもちょうきょうどぶんかかいかん）

ウェブサーチ No.13



農村に残る生活様式の保存、民具・出土品等や市指定文化財を展示

〒690-2104松江市八雲町大字熊野799
電話 0852-54-1027
開9:00～17:00
休土曜日の午後と水曜日。祝祭日の翌日
交JR松江駅よりバス八雲行き終点下車乗換え熊野大社前下車

P無料

お茶を冷やす道具

昔、冷蔵庫のない時代にこの中にお茶を入れ、井戸の中に吊しておきました。



和紙
人間国宝

安部榮四郎記念館（あべえいしろうきねんかん）

ウェブサーチ No.14



“紙”神のふるさと八雲村・和紙と美術工芸の安部記念館

〒690-2102松江市八雲町東岩坂1754
電話 0852-54-1745
FAX 0852-54-1745
開9:00～16:30
休火（祝日の場合翌日）・12/28～1/4
交JR松江駅より一畑バス八雲行き終点下車、乗換え別所行き

P無料20台
大型バス3台

和紙

植物を使って紙を作る事ができます。下の写真は和紙の繊維（せんい）を拡大したもので障子に使います。



鉄とたたらの歴史

和鋼博物館（わこうはくぶつかん）

ウェブサーチ No.15



中国山地のたたら製鉄資料を展示する「たたらの総合博物館」

〒692-0011安来市安来町1058
電話 0854-23-2500
FAX 0854-23-0880
開9:00～16:30
休水（祝日の場合翌日）
交JR安来駅より徒歩15分

P無料80台
大型バス2台

玉鋼（たまはがね）

この玉鋼という鉄のかたまりを繰り返し加熱し、打ち延ばして日本刀は作られます。



仏像

清水寺宝蔵（きよみずてらほうぞう）

ウェブサーチ No.16



み佛の微笑みを伝える

〒692-0033安来市清水町528
電話 0854-22-2151
FAX 0854-22-2107
開9:00～17:00（要予約）
休境内自由
交JR安来駅よりバス清水坂下下車徒歩10分

P無料100台
大型バス20台

増長天像（ぞうじょう）

多聞天（北）広目天（西）持国天（南）と一緒に須弥山の四方を護るといわれる。この像は平安初期の作で4体揃って展示されています。



答え Answer

近代美術

足立美術館（あだち びじゅつかん）

ウェブサーチ No. 17

名園と横山大観コレクション

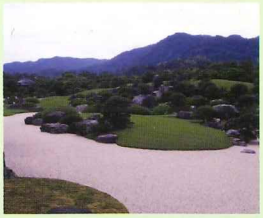


〒692-0064安来市古川町320
電話 0854-28-7111
FAX 0854-28-6733
開9:00～17:30（10月～3月は17:00）
休年中無休
交JR安来駅、JR米子駅、玉造温泉より無料シャトルバス有

P 無料500台 大型バス20台

滝（枯滝）（からたき）

この庭は「枯山水（かれさんすい）庭（てい）」といいます。この枯滝から流れ落ちた水が山あいを抜け、谷を通って海へとそそぎ込む雄大な自然を、水を使わずに表現している庭なのです。



郷土の歴史と民俗

安来市立歴史資料館（やすぎ しりつれきし しりょうかん）

ウェブサーチ No. 18

広瀬の歴史とロマンを伝える



〒692-0402安来市広瀬町町帳752
電話 0854-32-2767
FAX 0854-32-2767
開10:00～17:00
休水・12/29～1/3
交安来市広域生活バス月山入口下車

P 無料10台

武士の家

史跡富田城跡花ノ壇で発掘されたおおよそ400年前の建物跡を、復元したものです。



備前焼コレクション

安来市立加納美術館（やすぎ しりつ かのう びじゅつかん）

ウェブサーチ No. 19

日本一の備前焼コレクション
郷土作家の絵画・彫刻展示



〒692-0623安来市広瀬町布部345-27
電話 0854-36-0880
FAX 0854-36-0881
開10:00～16:30（入館～16:00）
休火（祝祭日の場合翌日）・12/1～2月末
交JR安来駅より車30分

P 無料30台

備前焼人間国宝 金重陶陽作「香炉」



ふたを取り中に炭を入れ、上から香（コウ）を振りその香りをたのしむものです。

古代玉作りの技術史

松江市立出雲玉作資料館（まつえ しりついずもたまつくりしりょうかん）

ウェブサーチ No. 20

全国で唯一の古代玉の資料館



〒699-0201松江市玉湯町玉造99-3
電話 0852-62-1040
FAX 0852-62-1040
開9:00～17:00
休月・祝日の翌日・12/28～1/4
交JR玉造温泉駅より玉造温泉行バス史跡公園入口下車徒歩10分

P 無料70台 大型バス4台

玉湯町



玉湯町の碧玉（へきぎょく）産地花仙山（かせんざん）を中心とした地域は、勾玉の産地として知られていました。

旧本陣の歴史

松江市宍道蒐古館（まつえしんじしゅうこかん）

ウェブサーチ No. 21



湖と歴史に学ぶまちの美術・博物館

〒699-0401松江市宍道町宍道1715-2
電話 0852-66-3245
開 FAX 0852-66-3473
休 9:00～16:30
交 火（祝日の場合翌日）
JR宍道駅より徒歩10分

P 無料

銅鐸の器面にある文様

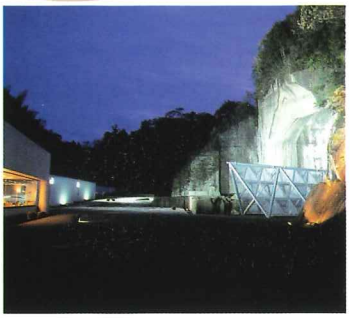
この「眼」は悪霊から護る邪視文といわれる文様です。



来待石の歴史

モニュメントミュージアム来待ストーン（きまち）

ウェブサーチ No. 22



県景観大賞を受賞した素晴らしいロケーションの中で来待石の現在過去未来を

〒699-0404松江市宍道町東来待1574-1
電話 0852-66-9050
FAX 0852-66-1430
開 9:00～17:00
休 火（祝日の場合翌日）
交 JR来待駅より徒歩15分

P 無料80台 大型バス6台

パレオパラドキシアの模型

1400万年前にいたパレオパラドキシアというホ乳類の模型です。来待石が形成された、1400万年前、この辺が海であった頃にいたパレオパラドキシアの本物の化石を来待ストーンで見ることができます。



国内最多の銅鐸群

加茂岩倉遺跡ガイダンス（かもいわくらいせき）

ウェブサーチ No. 23



四季折々の豊かな自然を満喫できる加茂岩倉遺跡の総合案内・休憩施設

〒699-1115雲南市加茂町岩倉837-24
電話 0854-49-7885
FAX 0854-49-7889
開 9:00～17:00
休 祝祭日を除く火曜日・年末年始
交 JR宍道駅から車で12分・松江道宍道ICより車で7分（いずれも駐車場まで）・駐車場から徒歩8分

P 無料28台 大型バス4台

合計39個が出土

1996年10月、一カ所からの出土としては全国最多の39個もの銅鐸が見つかりました。これらは、農業の豊作を願ったとも、鳴らして音を聞く楽器や観賞用だとも言われています。



原爆病治療医師の生涯

永井隆記念館（ながいたかしきねんかん）

ウェブサーチ No. 24



平和の使徒「永井 隆」博士の遺徳を顕彰

〒690-2404雲南市三刀屋町199
電話 0854-45-2239
FAX 0854-45-2239
開 9:00～16:30
休 第1・3・5日曜　第2・4月曜（祝日の場合翌日）
交 JR木次駅より雲南市民バス三刀屋行三刀屋駅下車徒歩15分

P 無料10台 大型バス3台

永井隆

原爆の犠牲となりながらも、原子医学の研究を続け平和を訴えながら、43歳でなくなった三刀屋出身の科学者です。





答え Answer

鉄とたたらの歴史

鉄の歴史博物館

ウェブサーチ No. 25



たたら製鉄に見る吉田村の歴史

〒690-2801雲南市吉田町吉田2533
電話 0854-74-0043
FAX 0854-74-0043
開9:00～17:00（入館～16:00）
休月（祝日の場合翌日）
交JR木次駅より広島方面行バス掛合下車乗換え村営バス吉田町下車徒歩3分

P無料30台 大型バス5台

砂鉄は黒錆びでおおわれているため

錆びには赤錆びと黒錆びがあります。砂鉄は鉄と酸素が化合した酸化鉄なので、砂鉄は黒錆びでおおわれているためこれ以上錆びません。



郷土の歴史と民俗

飯南町立飯南町歴史民俗資料館

ウェブサーチ No. 26



西日本の積雪期の用具（国指定重要有形民俗文化財）150点を展示

〒690-3207飯南町頓原2084-4
電話 0854-72-1776
FAX 0854-72-1354
開8:30～17:00
休12/28～1/3,土・日・祝日（事前に連絡があれば対応します）
交バス頓原停留所下車徒歩3分

P無料

道踏み

新雪が積もった朝などに道踏み（道あけ）用として使用された雪輪です。



たたら師の歴史と美術

可部屋集成館

ウェブサーチ No. 27



鉄の歴史とロマンの郷奥出雲・櫻井家の歴史を紹介

〒699-1621仁多郡奥出雲町上阿井1655
電話 0854-56-0800
FAX 0854-56-0800
開9:00～16:30
休月（祝日の場合は翌日）・12/28～1/5
交JR出雲三成駅より車約15分

P50台 大型バス10台

櫻井家　縁

上の間、二の間の縁は上下二段に作られていて、これを「貴人廊下」と呼びました。上の段は藩主が通られ、下の段は御家来衆が、通られたとのことです。



地質と化石

奥出雲多根自然博物館

ウェブサーチ No. 28



宇宙の進化と生命の歴史

〒699-1434仁多郡奥出雲町佐白236-1
電話 0854-54-0003
FAX 0854-54-0005
開9:30～17:00
休月（祝日の場合は翌日）
交出雲八代駅より車5分

P無料25台 大型バス2台

アンモライト

だじゃれみたいだけどこれが正解。



たたら師の歴史と美術

絲原記念館（いとはらきねんかん）

ウェブサーチ No. 29



奥出雲で栄えた、鉄師頭取（たたら製鉄師）の資料館

〒699-1812仁多郡奥出雲町大谷856-18
電話 0854-52-0151
FAX 0854-52-0159
開9:00～16:30
休展示替日（3·6·9月下旬に各2日）
交JR出雲三成駅より車約7分

P 無料100台 大型バス20

棹秤の分銅（さおばかり）

江戸時代、丁銀などの貨幣を計る棹秤のおもりとして使われていました。



そろばん産業史

雲州そろばん伝統産業会館（うんしゅうでんとうさんぎょうかいかん）

ウェブサーチ No. 30



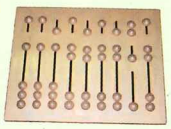
雲州そろばんの歴史を伝える

〒699-1832仁多郡奥出雲町横田992-2
電話 0854-52-0460
FAX 0854-52-0460
開9:00～16:30
休月（祝日の場合翌日）·年末年始
交JR出雲横田駅よりすぐ

P 無料20台 大型バス2台

サラシミそろばん

世界最初の計算器具はギリシャの南西サラシミ島で発見されました。





ローマ溝そろばん

今より2000年前ローマ人が使用しました。銅板に溝を彫り金属の珠をさしこみ裏側で締め溝をすべらせて計算します。

郷土の歴史と民俗

横田郷土資料館（よこたきょうどしりょうかん）

ウェブサーチ No. 31



大正末期の農家のたたずまいと生活様式を再現

〒699-1822仁多郡奥出雲町下横田474
電話 0854-52-1112
開9:00～17:00
休月·祝祭日の翌日·年末年始
交JR出雲横田駅よりバス八川公民館前下車

P 無料20台 大型バス2台

こたつ（瓦器製）

炭や煉炭を中に入れて、金網などで囲った後、ふとんをかけて使います。



たたらと刀剣

奥出雲たたらと刀剣館（おくいずもとうけんかん）

ウェブサーチ No. 32



たたらの歴史、玉鋼の作成工程、刀作りの実演が見られる館

〒699-1832仁多郡奥出雲町横田1380-1
電話 0854-52-2770
FAX 0854-52-2771
開10:00～17:00
休月（祝日の場合翌日）·年末年始
交JR出雲横田駅より車5分

P 無料10台 大型バス3台

たたら炉の断面

このたたら炉の中で砂鉄と木炭を一緒に三日三晩燃焼させ、底にできる塊がケラと呼ばれる鉄素材です。



国内最多の青銅器群

斐川町立荒神谷博物館（ひかわちょうりつこうじんだにはくぶつかん） ウェブサーチ No.33



今、時代を超えてよみがえる弥生青銅器の郷（2005年10月6日にオープン）

〒699-0503簸川郡斐川町神庭873-8
電話 0853-72-9044
FAX 0853-72-7695
開 9:00～17:00（入館～16:30）
休 年中無休
交 JR荘原駅より車5分

P 無料64台
大型バス5台

358本埋納の謎

代表的な説を3つあげます。「祭祀（さいし）説」（青銅器を埋めることも再び取り出すことも重要な祭のときだけ取り出して使った）、「廃棄（はいき）説」（青銅器の祭が終わったので放棄する目的で埋めた）、「隠匿（いんとく）説」（大和勢力に攻められた出雲勢力が、滅亡する前に、再び力を盛り返す時のために象徴としていた青銅器を埋め隠した）などいろいろな推理が考えられます。

宍道湖の自然

県立宍道湖自然館ゴビウス（けんりつしんじこしぜんかん） ウェブサーチ No.34



県内河川と、宍道湖・中海の魚類を中心とした国内初の汽水水族館

〒691-0076出雲市園町沖の島1659-5
電話 0853-63-7100
FAX 0853-63-7101
開 9:30～17:00（入館～16:30）
休 月（祝祭日の場合翌平日）
交 一畑電鉄湖遊館新駅より徒歩10分

P 無料100台
大型バス10台

「すもうあしこし（相撲足腰）」



宍道湖にはさまざまな生きものが暮らしていますが、中でも「宍道湖七珍」と呼ばれる7種類の生きものたちは、宍道湖の豊かな自然と食文化の代表として知られています。これらの便利な覚え方に、それらの頭文字をとった「すもうあしこし（相撲足腰）」という語呂合わせもあります。

旧本陣の歴史と美術

平田本陣記念館（ひらたほんじんきねんかん） ウェブサーチ No.35



松江藩歴代藩主の宿泊地・休憩地であった本陣宿

〒691-0001出雲市平田町515
電話 0853-62-5090
FAX 0853-62-5101
開 9:00～17:00
休 火曜日
交 電鉄雲州平田駅より生活バス市内循環線 平田本陣入口下車徒歩3分

P 無料100台
大型バス20台

落合朗風（おちあいろうふう）「室内静物A」（1933）第5回青龍社展



「最近、静物画に殊に興味が湧いていて、この方向にも日本画としての進むべき道のあることを信じての一作。」
朗風のことばより。

伝統の継承

出雲市立出雲文化伝承館（いずもしりついずもぶんかでんしょうかん） ウェブサーチ No.36



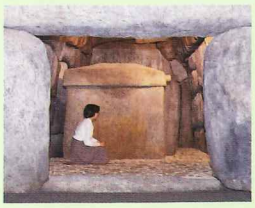
伝統文化の保存継承・創造の総合文化施設

〒693-0054出雲市浜町520
電話 0853-21-2460
FAX 0853-21-4165
開 9:00～17:00（入館～16:30）
休 月（祝日を除く）・祝日の翌日・12/30～1/4
交 出雲市駅より車10分

P 無料150台
大型バス8台

巨大な石棺

日本で最も大きいといわれる古墳時代の上塩冶築山（かみえんやつきやま）古墳の石棺模型です。



科学実験

出雲科学館（いずもかがくかん）

ウェブサーチ No. 37



科学について楽しく学ぶことができる体験学習施設

〒693−0001出雲市今市町1900-2
電話 0853-25-1500
FAX 0853-24-8383
開10:00～18:00
休毎月第3月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始
交JR出雲市駅より東へ徒歩10分

P 無料125台
大型バス5台

尿素結晶（にょうそ）

尿素はもともと人間の肌や血液に存在するもの。肌の保湿などの働きをします。その尿素を使ってきれいな花が咲いたような尿素結晶を作りました。





総合美術

今岡美術館（いまおかびじゅつかん）

ウェブサーチ No. 38



人と自然の想いを繊細にダイナミックに展示した心癒す芸術空間

〒693-0005出雲市天神町856
電話 0853-25-2239
FAX 0853-25-2238
開9:00～17:00（入館は16:30）
休月（祝日・振替休日の場合翌日）
年末年始・展示替え期間
交JR出雲市駅よりバス医大上塩冶車庫線、天神団地バス停前下車

P 無料

1本

樹齢推定600年の古木、何でこんな形になったんだろうね？



民芸コレクション

出雲民芸館（いずもみんげいかん）

ウェブサーチ No. 39



豪農屋敷を利用した染布や焼物など郷土の技を紹介する民芸館

〒693-0033出雲市知井宮町628
電話 0853-22-6397
FAX 0853-22-6397
開9:00～17:00（入館～16:30）
休月（祝日の場合翌日）
交JR西出雲駅北口より徒歩10分

P 無料15台
大型バス3台
染物、陶磁器、鉄、木工品など

人ぷん

各家庭の人ぷんを、畑に穴を掘り埋めてあるこの肥溜に運び、発酵させて肥料として使います。



茶道美術

手錢記念館（てぜんきねんかん）

ウェブサーチ No. 40



出雲地方の秀でた美術工芸を酒蔵で観る

〒699-0751出雲市大社町杵築西2450-1
電話 0853-53-2000
FAX 0853-53-2000
開9:00～16:30
休火（祝日の場合翌日）・年末年始・展示替期間
交出雲大社より徒歩8分

P 無料40台
中型バス4台

初代小島漆壷斎作「秋野棗（なつめ）」



漆（うるし）という木の液で描いて、上から細かい金の粉を蒔くと漆の液に貼りついて、絵ができます。

古代からの奉献品

出雲大社宝物殿（いずもたいしゃほうもつでん）

ウェブサーチ No. 41



出雲大社に古代より奉納され国宝や重要文化財に指定された優品の数々

〒699-0701出雲市大社町杵築東195
電話 0853-53-3100
FAX 0853-53-2515
開8:30～16:30
休年中無休
交一畑電鉄出雲市駅よりバス25分正面前下車

P無料375台
大型バス10台

吉野川上流（高知県本山町）

旧本山村の人が、出雲大社への賽銭（寛永通宝15枚）を乗せて吉野川の上流から流し、見事願いがかなって奉納されました。



郷土の歴史と民俗

スサノオ館（かん）

ウェブサーチ No. 42

遠い時空を超えスサノオ神話が今、蘇る



〒693-0502出雲市佐田町原田735-14
電話 0853-84-0963
FAX 0853-84-0203
開10:30～17:00
休火（祝日の場合翌日）
交出雲市駅より須佐行バス出雲須佐下車、車5分

P無料

神事花（しんじばな）

8月15日に、須佐神社で催される切明神事に使われるものを複製したものです。



銀山史

石見銀山資料館（いわみぎんざんしりょうかん）

ウェブサーチ No. 43



石見銀山遺跡の総合ガイダンス施設

〒694-0305大田市大森町ハ51-1
電話 0854-89-0846
FAX 0854-89-0159
開9:00～17:00（12月～2月は～16:00）
休12/29～1/4
交JR大田市駅より川本行バス大森代官所跡下車

P無料30台
大型バス4台

石見銀山で生産された灰吹銀

石見銀山で生産された灰吹銀を江戸幕府に納めるとき、馬や荷物にこの小旗が付けられました。



銀山の町並

大森銀山伝統的建造物群保存地区（おおもりぎんざんでんとうてきけんぞうぶつぐんほぞんちく）

ウェブサーチ No. 44



石見銀山と代官所の町

〒694-0305大田市大森町
電話 0854-82-1600
FAX 0854-54-9156（大田市役所石見銀山課）
開町並み交流センター9:00～16:30
休町並み交流センター・月（祝日の場合翌日）
交JR大田市駅より川本行バス大森代官所跡下車

毛利元就（もうりもとなり）（豊栄神社（とよさか））

16世紀中頃、石見銀山は毛利家の直轄地になっており、その関係で毛利元就が祀られています。



答え Answer

三瓶山の自然

島根県立三瓶自然館サヒメル（しまねけんりつさんべしぜんかん）

ウェブサーチ No. 45



島根の自然、三瓶の自然に触れながら楽しく学べる施設

〒694-0003大田市三瓶町多根1121-8
電話 0854-86-0500
FAX 0854-86-0501
開9:30～17:00
休月曜日（休・祝日の場合は翌日）・12/28～1/1、3・9・12月の第1月曜日～金曜日
交JR大田市駅より車25分

P 無料100台 大型バス8台

三瓶火山の噴火

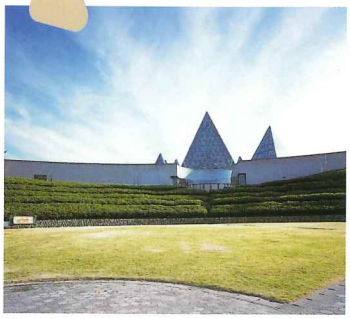
三瓶火山の噴火で3500年前頃に埋もれました。直径数mもある巨木の林を埋め尽くしてしまうほどの大噴火でした。



鳴り砂

仁摩サンドミュージアム（にま）

ウェブサーチ No. 46



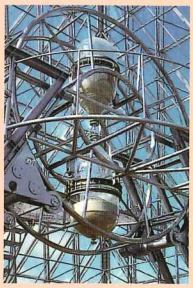
鳴り砂の町・仁摩に刻む世界最大の一年計砂時計

〒699-2305邇摩郡仁摩町天河内町975
電話 0854-88-3776
FAX 0854-88-3785
開9:00～17:00（入館～16:30）
休第1水曜
交JR仁万駅より徒歩10分

P 無料250台 大型バス10台

砂の落ちる量はそれぞれ次のようです。

●1分間～
約1.9g
●1時間～
約114g
●1日～
約2,740g



郷土の歴史と民俗

江津市郷土資料館（ごうつし きょうどしりょうかん）

ウェブサーチ No. 47



郷土の民俗資料を展示

〒695-0011江津市江津町995
電話 0855-52-2501
FAX 0855-52-4369
開9:00～17:00（要事前連絡）
休土・日・祝祭日・年末年始
交JR江津駅より徒歩10分

P 無料10台

石州瓦



今の石州瓦のもようです。上の写真の様な感じで屋根の上に乗っています。

近代美術

水の国ミュージアム（みずくに）

ウェブサーチ No. 48



水と芸術との出会いを体験

〒699-4505江津市桜江町坂本2025
電話 0855-93-0077
FAX 0855-93-0078
開9:00～17:30（入館は16:30まで）
休水・木
交JR川戸駅より車10分

P 無料60台 大型バス4台

水車オルゴール

見た目だけではわかりませんが、水の力で動くオルゴールです。



近代美術

今井美術館（いまいびじゅつかん）

ウェブサーチ No. 49



絵を観る･･･絵との対話を願う

〒699-4226江津市桜江町川戸472-1
電話 0855-92-1839
FAX 0855-92-0126
開10:00～16:00
休第1･3土･日、特別展開催中無休
交JR川戸駅より徒歩10分

P 無料100台
大型バス10台

両方とも岩を砕いて使った絵の具（岩絵の具）で描かれています。



宮迺正明「水花火」



西田俊英「祈り」

オオサンショウウオ

瑞穂ハンザケ自然館（みずほしぜんかん）

ウェブサーチ No. 50



オオサンショウウオの不思議に遭遇できる自然館

〒696-0224邑智郡邑南町上亀谷475
電話 0855-83-0819
FAX 0855-83-0819
開5～8月:10:00～17:00
9月～4月:9:00～16:00
休月･祝祭日の翌日
交道の駅瑞穂より徒歩5分

P 無料

正解は3の小さな目がある

近寄ってじっくり見ないと判らないほど、非常に小さな目があります。



郷土史

邑南町郷土館（おおなんちょうきょうどかん）

ウェブサーチ No. 51



近くに順庵原1号墳やハンザケ自然館があり瑞穂の歴史と自然を体感することができる。

〒696-0223邑智郡邑南町下亀谷210
電話 0855-83-1580
FAX 0855-83-1580
開9:00～16:30
休月･祝祭日の翌日･12/28～1/4
交道の駅瑞穂から徒歩10分

P 無料30台
大型バス4台

石庖丁

石庖丁と呼ばれている稲の穂をつむ道具です。主に弥生時代に使用されました。



シロイルカと遊ぶ

しまね海洋館（アクアス）（かいようかん）

ウェブサーチ No. 52



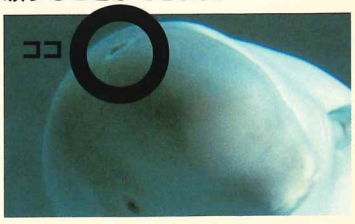
中四国最大級の水族館

〒697-0004浜田市久代町1117-2
電話 0855-28-3900
FAX 0855-28-3610
開9:00～17:00
休火（祝日の場合翌日）
交JR波子駅より徒歩10分･山陰道（江津道路）浜田東ICから松江方面へ5分

P 無料2000台
大型バス64台
写真はOK
フラッシュ禁止

シロイルカ

頭の上の穴が鼻です。泳ぎながらでも頭を少し水面から出すだけで呼吸することができます。



答え Answer

刀剣・美術

石見安達美術館（いわみあだちびじゅつかん）

ウェブサーチ No. 53



石見地方の古美術品を展示

〒697-0004浜田市久代町1655-28
電話 0855-28-1920
FAX 0855-28-1920
開 9:30～16:00
休 火（祝日の場合翌日）
交 JR浜田駅より江津行きバス、アクアス前下車

P 無料30台
大型バス3台

長浜人形の内裏雛（だいりびな）

男雛の着物の凹凸模様です。粘土で作られているので、このような凹凸模様ができます。



歯の治療技術史

歯の歴史資料館（はれきししりょうかん）

ウェブサーチ No. 54



昔から現代までの歯にまつわる貴重な歴史資料展示

〒697-0004浜田市久代町1-8
電話 0855-28-1960
FAX 0855-28-1960
開 10:00～17:00（要事前連絡）
休 月水金日・12/25～1/10
交 JR浜田駅より江津行バス久代下車徒歩5分

P 無料10台

歯みがき

昔の歯ブラシで房楊枝（ぼうようじ）です。



浜田の歴史

浜田市郷土資料館（はまだしきょうどしりょうかん）

ウェブサーチ No. 55



浜田市を中心とする歴史・考古・民俗・書画等の郷土資料を紹介

〒697-0024浜田市黒川町3746-3
電話 0855-23-6453
FAX 0855-23-6453
開 9:00～17:00（入館～16:30）
休 月・祝日の翌日・展示替期間中
交 JR浜田駅より市内循環バス浜田医療センター前下車徒歩2分

P 無料2台

浜田城の鬼瓦

古田重治（ふるたしげはる）が築城し、のち、本多家、松平家の居城となり、江戸時代を通して石見地方の政治の拠点となった浜田城に使われていた鬼瓦です。



美術

浜田市世界こども美術館（はまだしせかいこどもびじゅつかん）

ウェブサーチ No. 56



「みること」と「つくること」を体験できる美術館

〒697-0016浜田市野原町859-1
電話 0855-23-8451
FAX 0855-23-8452
開 9:30～17:00（入館は16:30まで）
休 月（祝日の場合は翌日）・年末年始・展示替期間
交 JR浜田駅よりバス県立大学行き終点下車

P 無料200台
大型バス5台

児童画

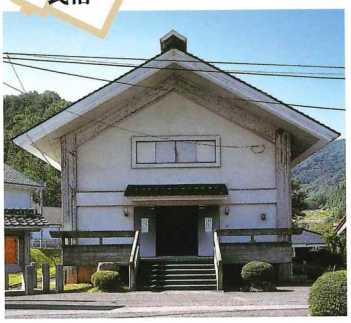
①アメリカ②フランス③インド④メキシコ⑤中国⑥ロシアです。



郷土の歴史と民俗

かなぎちょうれきしみんぞくしりょうかん 金城町歴史民俗資料館

ウェブサーチ No. 57



たたら製鉄用具、たたら関係文書、町出身の偉人島村抱月、能海寛の遺品や関係資料を展示

〒697-0211那賀郡金城町波佐
電話 0855-44-0146
FAX 0855-42-1166
開9:00～17:00
休祝日・年末年始
交JR浜田駅より波佐行バス波佐下車徒歩5分

P 無料30台

手杵（てぎね）

今はもう見られませんが、昔は小さな杵を使って、木うすで穀類や味噌を搗（つ）くのは家庭で見られる一般的な姿でした。



石本正コレクション

せきしょうびじゅつかん 石正美術館

ウェブサーチ No. 58



「水澄の里」の緑あふれる小高い丘の上に建つ石本正の美術館

〒699-3225那賀郡三隅町古市場589
電話 0855-32-4388
FAX 0855-32-4389
開9:00～17:00（金曜日は～21:00）
休月（祝日の場合翌日）・展示替期間中
交JR三保三隅駅より徒歩15分

P 無料38台 大型バス3台

となかいの角

「となかい」のデッサンを見て描かれた絵です。描いているうちに、日本の風景になってしまいました。

石本　正「石見菊」（2004）



個人医学史

はたきねんかん 秦記念館

ウェブサーチ No. 59



梅毒の特効薬を発見した化学療法の先駆者 秦佐八郎の資料展示

〒698-0203益田市美都町都茂807
電話 0856-52-2415
開9:00～16:00
休月・祝日の翌日・年末年始
交JR益田駅より美都温泉行バス丸茂上下車

P 無料8台 大型バス2台

新薬発見の記念メダル

1910（明治43）年、梅毒の特効薬606号（サルバルサン）の発見を記念して、ドイツで作成されたメダルです。



雪舟庭園

いこうぜんじ 医光禅寺

ウェブサーチ No. 60



春はしだれ桜、秋は紅葉に彩られる五代住職雪舟による名庭園

〒698−0011益田市染羽町4-29
電話 0856-22-1668
FAX 0856-22-1668
開8:30～（夏17:30・12～2月17:00）
休年中無休
交JR益田駅より石見交通バス医光寺行き終点下車

P 無料20台 大型バス3台

亀

亀をイメージして作られた島です。



答え Answer

郷土の歴史と民俗

益田市立歴史民俗資料館（ますだしりつれきしみんぞくしりょうかん） ウェブサーチ No.61



中世益田氏の歴史や糸あやつり人形など多彩な益田の文化を紹介

〒698-0005益田市本町6-8
電話 0856-23-2635
FAX 0856-23-2635
開9:00～16:00（受付）
休月（祝日を除く）・祝日の翌日・12/29～1/3
交JR益田駅より石見交通バス医光寺行き折戸下車

P無料10台

榊立て（さかきたて）



「榊立て」（さかきたて）は榊を立てて神さまにおあげするもので、神棚の左右に置くために一対用意します。

雪舟に会える美術館

益田市立雪舟の郷記念館（ますだしりつせっしゅうさときねんかん） ウェブサーチ No.62



雪舟とともにみる・学ぶ・憩う

〒698-0003益田市乙吉町イ1149
電話 0856-24-0500
FAX 0856-24-0500
開9:00～16:00（受付）
休月（祝日を除く）・祝日の翌日・12/29～1/3
交JR益田駅より石見交通バス久城・土田行運動公園前下車徒歩3分

P無料50台 大型バス10台

雪舟

彫刻家、高村光雲の作品。モデルはもちろん雪舟です。



雪舟庭園

萬福寺雪舟庭園（まんぷくじせっしゅうていえん） ウェブサーチ No.63



雪舟によって作られた石庭

〒698-0004益田市東町25-33
電話 0856-22-0302
FAX 0856-22-0302
開8:00～17:00
休年中無休
交JR益田駅よりバス折戸下車徒歩5分

P無料

極楽浄土（「二河白道図」より）

白い線（道）の左右は、人間のいろいろな欲望を示しており、その誘惑に負けることなく、この白い道を歩きなさいと教えています。
（原品は国の重要文化財）



総合美術

芸術文化センター石見美術館（げいじゅつぶんかセンターいわみびじゅつかん） ウェブサーチ No.64

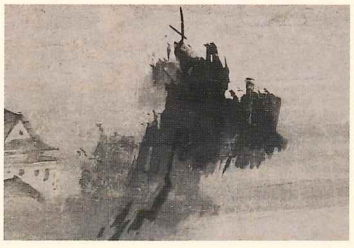


2005年10月8日に開館する美術館とホールの複合施設。開館までのお問い合わせ等は下記芸術文化センター建設室まで。

〒690-8501松江市殿町1
島根県文化振興課 芸術文化センター建設室
電話 0852-22-6229
FAX 0852-28-9262
開9:00～17:30（入館は16:30まで）
休
交JR益田駅より約1km

木

変わった描き方ですが、木を描いています。



答え Answer

郷土の歴史と民俗

日原町立歴史民俗資料館（にちはらちょうりつ れきし みんぞくしりょうかん）

ウェブサーチ No. 65

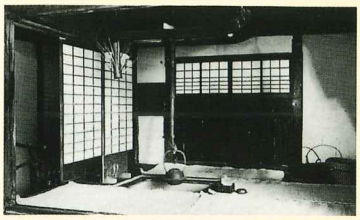


近世の庶民の暮らしに触れる

〒699-5207鹿足郡日原町枕瀬218-1
電話 0856-74-0933
開 9:00～16:30
休 月・木・年末年始
交 JR山口線日原駅下車徒歩15分

P 無料40台 大型バス4台　喫茶のみ

江戸時代後期



日原町立歴史民俗資料館ではこの他様々なむかしの暮らしを見ることができます。

宇宙への夢

日原天文台（にちはら てんもんだい）

ウェブサーチ No. 66



季節ごとに移り変わる天体を見に、四季を通じてどうぞ!

〒699-5207鹿足郡日原町枕瀬801-8
電話 0856-74-1646
FAX 0856-74-1647
開 12:00～17:00　19:00～22:00
休 火・第2・第4水（祝祭日の場合開館）・元旦・1/16～2/10、夏休中は無休
交 JR山口線日原駅よりタクシー利用

P 無料

いん石の衝突

クレーターはアメリカ、アリゾナ州のウィンズロー近くの砂漠の中にある、バリンジャー隕石孔など、地球にもあります。



個人美術館

津和野町立安野光雅美術館（つわのちょうりつあんのみつまさびじゅつかん）

ウェブサーチ No. 67



芸術と科学をつなぐ美術館です。

〒699-5605鹿足郡津和野町後田イ60-1
電話 0856-72-4155
FAX 0856-72-4157
開 9:00～17:00（入館は16:45まで）
休 3・6・9・12月の第2木曜日、12/29～31
交 JR津和野駅隣接津和野町営駐車場をご利用ください。

P 無料10台

安野光雅（あんの みつまさ）

津和野町出身の画家・安野光雅さんです。



報道写真

桑原史成写真美術館（くわばら しせい）

ウェブサーチ No. 68



国内外のさまざまな出来事を報道写真家「桑原 史成」の写真を通じて紹介

〒699-5605鹿足郡津和野町後田71-2
電話 0856-72-3171
開 9:00～17:00（入館は16:45）
休 企画展展示替期間
交 JR津和野駅隣

P 無料3台

桑原史成



津和野町出身（1936年生）の報道写真家として国内外で活躍。作品には、「水俣病」をはじめ、「ベトナム」「韓国」などがあり、戦争の悲惨さや社会の変貌を鋭くとらえる視点は、高く評価されています。

北斎浮世絵

かつしかほくさいびじゅつかん 葛飾北斎美術館

ウェブサーチ No. 69



風景版画のみならず版本・肉筆画など北斎の多彩な作品を展示

〒699-5605鹿足郡津和野町後田口254
電話 0856-72-1850
FAX 0856-72-1850
開9:30～17:00（入館～16:30）
休展示替え期間・年末年始
交JR津和野駅より徒歩5分

P無料2台

「雀とはさみ図」は「舌切り雀」を題材とした絵です。

富士山の版画で有名な北斎の作品の中には、この様に童話を題材にしたものもあります。



郷土の歴史と民俗

つわのちょうみんぞくしりょうかん 津和野町民俗資料館

ウェブサーチ No. 70



森鷗外や西周を輩出した郷土の民俗を紹介

〒699-5605鹿足郡津和野町後田口66
電話 0856-72-1000
開8:30～17:00（入館は16:45）
休12／29～1／3
交JR津和野駅より徒歩10分

「むしろ」編み台





「つつろ」を「こませ」の前後に動かしながら「むしろ」を編んでいきます。

郷土史

つわのちょうきょうどかん 津和野町郷土館

ウェブサーチ No. 71



津和野の歴史と西周を始めとする先哲を紹介

〒699-5684鹿足郡津和野町森村口127
電話 0856-72-0300
FAX 0856-72-2025
開8:30～17:00（入館は16:45）
休12/29～1/3
交JR津和野駅よりバス郷土館前下車

P無料3台

にしあまね 西周（1829-1897）



幕末、江戸幕府の命により、オランダに留学してヨーロッパの思想を日本に紹介。「科学」「技術」「芸術」「哲学」など、現在使われている多くの学術用語を翻訳しています。

中尾彰・吉浦摩耶の世界

もりじゅくびじゅつかん 杜塾美術館

ウェブサーチ No. 72



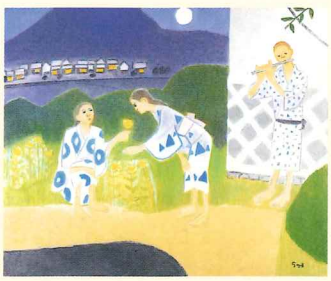
昔の庄屋屋敷に郷土出身の中尾彰夫妻の絵画と庭園の美しい美術館

〒699-5604鹿足郡津和野町森村イ542
電話 0856-72-3200
FAX 0856-72-3220
開9:00～17:00
休12/29～1/1
交JR津和野駅より徒歩12分

P無料5台

津和野町

中尾彰は津和野町出身の画家です。



西洋人形コレクション

板橋アンティークドール美術館（いたばしびじゅつかん）

ウェブサーチ No. 73



世界有数のアンティークドール、アンティークレースのコレクション

〒699-5604鹿足郡津和野町森村口6番
電話 0856-72-3110
FAX 0856-72-2000
開9:30～17:30（11～3月10:00～16:30）
休木（祝日開館）・1/20～2月末日
交JR津和野駅より津和野温泉行バス町田前下車

Ⓟ無料10台

フランス

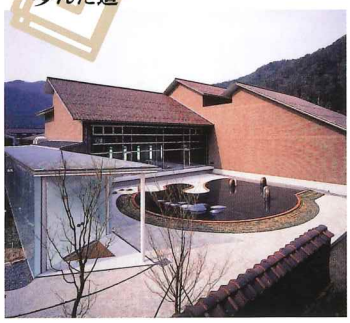
1860～1890年に活躍した天才人形師達が手掛けたアンティークドールです。



明治知識人の歩んだ道

森鷗外記念館（もりおうがいきねんかん）

ウェブサーチ No. 74



鷗外の生涯をたどる

〒699-5611鹿足郡津和野町町田イ238
電話 0856-72-3210
FAX 0856-72-3307
開9:00～17:00（入館は16:45）
休1／1～1／3（10:00～15:00）
交12／29～12／31、12月～3月中旬の月曜日
JR津和野駅よりバス鷗外旧居前下車

Ⓟ無料30台

舞姫（まいひめ）（初出1890［明治23年］）

異郷で芽生え、引き裂かれた恋の悲劇を描いた作品。記念館では、マイクロフィルムに収められた約3000点にものぼる書簡などを閲覧することができます。



日本海の自然

隠岐自然館（おきしぜんかん）

ウェブサーチ No. 75



海と島の生きものたち―自然が語りかける隠岐

〒685-0013隠岐郡隠岐の島町中町（隠岐ポートプラザ2F）
電話 08512-2-1583
FAX 08512-2-7020
開8:30～17:30
休年末年始
交西郷港よりすぐ近く

Ⓟ無料10台

ニホンアシカ

絶滅したニホンアシカです。竹島・隠岐諸島・島根半島などの岩礁や近海に生息していました。



郷土史

隠岐郷土館（おききょうどかん）

ウェブサーチ No. 76



隠岐の歴史民俗から貝類・花のパネルまで隠岐の全てを紹介

〒685-0311隠岐郡隠岐の島町郡749-4
電話 08512-5-2151
FAX 08512-5-2151
開9:00～17:00
休12/28～1/3・12～2月の土・日・祝
交隠岐汽船よりバス水若酢神社前下車

Ⓟ無料10台

除草機（田車）

田植えのあと除草と中耕をかねて押して使う農耕具です。



郷土の歴史と民俗

海士町歴史民俗資料館（あまちょうれきしみんぞくしりょうかん） ウェブサーチ No.77



後鳥羽上皇関係の資料にふれて、承久の故事を偲ぶ

〒684-0403隠岐郡海士町中里
電話 08514-2-1470
FAX 08514-2-1470
開 9:00～17:00
休 11/21～3/20
交 菱浦港より豊田行バス隠岐神社前下車 徒歩1分
P 無料20台 大型バス3台

海鼠突き（なまこつき）

隠岐なまこは湾の沖の岩礁にいるので、約10メートル近い網のついたこの道具を、船上からカガミでのぞいてなまこに落として、引っかけていました。



例言

1.本書は、文化庁が実施した平成16年度芸術拠点形成事業の支援を受けて作成したものです。

2.本書の作成検討委員は、下記の通りです。(敬称略・五十音順)

浅沼政誌(島根県古代文化センター)
仙田浩志(松江市立内中原小学校)
永島敬子(松江市立竹矢小学校)
中村次郎(松江市教育委員会)
廣江保志(松江市立大庭小学校)
細田美佐江(松江市立湖南中学校)
眞住貴子(島根県立美術館)
米本　潔(森鷗外記念館)
本間恵美子(島根県立八雲立つ風土記の丘)
坂本典隆(島根県立八雲立つ風土記の丘)
平野芳英(島根県立八雲立つ風土記の丘)

しまねのミュージアムガイドブック

しまねのミュージアム探検隊　77の謎に挑戦!

平成16年3月15日　発行

■編集・発行（連絡先）

しまねミュージアム協議会
事務局　島根県立八雲立つ風土記の丘
〒690-0033　松江市大庭町456
TEL　0852－23－2485
FAX　0852－23－2429

■印刷

株式会社　報光社
〒691-0001　出雲市平田町993
TEL　0853－63－3939
FAX　0853－63－4355
PL:kishimoto Junko
D:Katsuhide Funo / Yuka sugihara
I:konishi Yuko

※PL:プランナー　D:デザイナー　I:イラストレーター

